

黒島天領北前船資料館災害復旧工事

■ 図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト				
	[建築図]		[電気設備図]		[機械設備図]
A-01	建築改修工事仕様書 その1	E-01	工事仕様書(電気設備) 1/3	M-01	工事仕様書(機械設備) 1/3
A-02	建築改修工事仕様書 その2	E-02	工事仕様書(電気設備) 2/3	M-02	工事仕様書(機械設備) 2/3
A-03	建築改修工事仕様書 その3	E-03	工事仕様書(電気設備) 3/3	M-03	工事仕様書(機械設備) 3/3
A-04	建築改修工事仕様書 その4	E-04	配置図	M-04	機器表
A-05	付近見取図、配置図、工事概要書	E-05	電灯・非常照明設備 1階平面図(改修前後)	M-05	空調設備 1階平面図
A-06	仕上表	E-06	電灯・非常照明設備 2階平面図(改修前後)	M-06	換気設備 2階平面図
A-07	地階平面図、1階平面図				
A-08	2階平面図、屋根伏図				
A-09	損傷復旧図1(1階展示室)				
A-10	損傷復旧図2(1階展示室)				
A-11	損傷復旧図3(1階ロビー・エントランスホール・事務室)				
A-12	損傷復旧図4(2階展示室)				
A-13	損傷復旧図5(地階前室・階段A)				
A-14	損傷復旧図6(地階収蔵庫)				
A-15	損傷復旧図7(外壁)				
A-16	損傷復旧図8(建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ)				
A-17	損傷復旧図9(建具)				
A-18	損傷復旧図10(外構1)				
A-19	損傷復旧図11(外構2)				
参考-1	参考 仮設計画図				

監 修

輪島市 教育委員会

年 月 日

最終改訂 令和7年4月1日

建築改修工事仕様書

I 工事概要

1 工事名

黒島天領北前船資料館災害復旧工事

2 工事場所

輪島市門前町黒島町町の114番地1

3 工事種目

・北前船資料館（内部）：床・壁のクラック損傷箇所補修、建具調整・取替え、他

・北前船資料館（外部）：外壁・軒及び軒表などのクラック・欠損箇所補修、他

・北前船資料館（外構）：床タイル・舗装などの通路床補修、建物との取り合い補修及び附属する階段・塀の損傷箇所補修、灯電撤去・新設、他

4 完成期日

令和 年 月 日（概成工期 令和 年 月 日）
（余裕期間制度試行工事適用の場合は、上記を完成日と期限とする。）

5 別契約関連工事

・屋外付帯工事

・植栽工事

・電気設備工事

・給排水衛生設備工事

・暖房設備工事

・冷房設備工事

・換気設備工事

・空調設備工事

・昇降機設備工事

・電話設備工事

・浄化槽設備工事

・

II 建築工事仕様

1 共通仕様

1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「改修標仕」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下「解体共仕」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標仕」という。）による。

2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を採用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（ ）図、機械設備工事の工事仕様書は（ ）図による。

2 特記仕様

1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と×印の付いた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、「標仕」の該当項目、当該図又は当該表を示す。

4）（別図（ ））は、「標仕」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。

5）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

6）〔G〕印は、「図等による環境物品等の調達に関する法律」（グリーン購入法）の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。

7）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（ ）内は製品名を示す。

8）斜線で消去した章は適用しない。

1章 一般共通事項

① 適用基準等

設計図書他に、下記の図書の該当事項を適用する。
○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版）
○建築構造設計基準の資料（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和3年通知）のうち第3章
○営繕工事写真撮影要領（令和3年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
○営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部令和3年度版）
・公共建築木造工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版）
・屋根瓦工事共通仕様書（石川県土木部営繕課監修 平成29年版）
○鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修）
○壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修）
・鉄骨構造標準図（石川県土木部営繕課監修）
○石川県バリアフリー社会の推進に関する条例（施設整備の手引き）
・石川県公共事業景観形成ガイドライン

② 工事実績情報の登録

※登録する（但し工事請負代金額500万円以上の工事。）

③ 発生材の処理

1）産業廃棄物は「産業物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づく許可を得た処分場で処分する。
また、処分の際には産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覧表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。
2）発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に引き渡す。
イ）引渡しを要するもの及び引渡し場所・引渡を要するもの・引渡し場所
ロ）特別管理産業廃棄物の有無・有・無
ハ）特別管理産業廃棄物の処理方法 ※図面 番 図参照
3）発生材のうち、現場で再利用を図るもの及び再資源化を図るものは下記による。
・現場で再利用を図るもの・
・再資源化を図るもの・
4）セッコボードの処理（有害物質非含有のものに限る）
・最終処分・再資源化
5）PCB含有シーリング材分析調査・する ※しない
6）建設リサイクル法第11条に基づく「通知書」及び同法18条に基づく「再資源化等報告書」の提出の有無
・有・無

④ 電気保安技術者

※ 適用する

⑤ 施工条件

・北前船資料館を部分的に運用しながらの工事予定のため、北前船資料館運営に十分に配慮の上、工事を行うこと。
・北前船資料館、輪島市など各担当者、工事監理者との工事工程の打合せを密に行い、施工にあたること。

6 施工調査

施工数量調査
調査範囲・
調査方法・
調査破壊部分の補修方法・

⑥ 建築材料等

1）本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、又はこれらと同等のものとす。
①「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料等品質性能評価事業建築材料評価名簿（最新年版）」（（社）公共建築協会）によるほか、これらと同等のものとす。ただし、同等のものとす場合は、次の②に準じ監督員の承認を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。
②JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次のイ）からハ）の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等以上を使用する場合は、監督員の承認を受ける者とする。
イ）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
ロ）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
ハ）安定的な供給が可能であること。
ニ）法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。
ホ）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
ヘ）販売保守等の営業体制が整えられていること。
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出し承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
2）請負契約約款第6条の2第7項に基づき調達する石川県の工事材料については、「使用材料確認願」により監督員の確認を受け、工事完了後は地元産品について「使用材料報告書」を提出すること。
3）請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。
※杭 ○型枠類 ・防水材料 ○石材 ・木材 但し、杭以外のJIS規格品は除く。
4）請負契約約款第14条第1項に定める監督員等の立会いのうえ調合等をして使用すべき工事材料は次のものとする。
※高強度コンクリート試し練り
5）請負契約約款第14条第3項に定める見本は次のものとする。
・金属製品 ・合成樹脂製品 ・木製建具 ○塗装
・家具及び家具の金物 ・畳 ○内外装材料 ・屋根材料
なお、監督員が承諾した材料は、証明となる資料と使用箇所を付し、工事完成まで現場事務所に掲示する。ただし、掲示が困難な材料等はカタログ、その他に代えることができる。
6）本工事に使用する建築材料等は、アスベスト含有建材を使用しないこと。（「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行等について」（厚生労働省労働基準局発達連平成18年8月）参照）。安全データシート（SDS）等により確認を行った場合は、その写しを監督員に提出すること。

⑦ 特別な材料の工法

「標仕」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

⑧ 技能士等

※ 技能士

① 仮設工事

○とび作業

② 木工工事

・鉄筋組立て作業

③ コンクリート工事

・型枠作業 ・コンクリート圧送工事作業

④ 鉄骨工事

・構造物鉄工作業 ・とび作業

⑤ ブロック・ALCパネル工事

・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業

⑥ 防水工事

・アスファルト防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業
・改質アスファルトシートーチ工法防水工事作業
・セメント系防水工事作業 ・FRP防水工事作業
・合成ゴム系シート防水工事作業 ・ウレタンゴム塗膜防水工事作業
・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・シーリング防水工事作業

⑦ 石工事

・石材加工作業 ・石張り作業 ・石積み作業

⑧ タイル工事

○タイル張り作業

⑨ 木工工事

・大工工事作業

⑩ 屋根及びとい工事

・内外装板金作業 ・かわらぶき作業

⑪ 金属工事

・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業

⑫ 左官工事

○左官作業

⑬ 建具工事

・ビル用サッシ施工作業 ・自動ドア施工作業 ・ガラス工事作業

⑭ カウンタウォール工事

・金属製カウンタール工事作業 ・ビームサッシ施工作業 ・ガラス工事作業

⑮ 塗装工事

○建築塗装作業

⑯ 内装工事

・プラスチック系床仕上げ工事作業
・カーペット系床仕上げ工事作業 ・木質系床仕上げ工事作業
・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業

⑰ 排水工事

○建築配管作業

⑱ 機械工事

・造園工事作業

⑲ 「石川の伝統的建造技術を伝える会」のうち、金沢城公園整備工事従事者の認定を受けた者。

⑩ 完成図等

※作成する
工事完成図は、A3版製本（※1部・2部・部）を提出する。
屋外付帯工事実測図 ※提出しない・提出する（1部）
保全に関する資料 ※提出しない・提出する（1部）
保全に関する資料のうち「建物等の利用に関する説明書」は、「管理者のための建築物保全の手引き（改訂版）」（（一財）建築保全センター）に建物の構造、機器、保安業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。
なお別契約の設備工事等がある場合は、連携の上作成する。

⑪ 工事写真等の記録

1）工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領（令和3年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部）により整備し、下記により提出する。また、本社様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。
各区分の写真は、A4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。
区 分 分 類 大 き さ 撮 影 枚 数 部 数
着 工 前 ※カラー・ ※100×148程度 ※ 景以上 ○各改修箇所 ※ 1部
工 事 中 ※カラー・ ※85×115程度 ※「営繕工事写真撮影要領」による ※ 1部
完 成 時 ※カラー・ ※100×148程度 ※ 景以上 ○各改修箇所 ※ 1部
2）完成写真の撮影 ・専門業者の撮影（撮影者を明記） ○専門業者以外の撮影
3）原版の使用権を次の者に移譲すること。 ※発注者 ・設計者
移譲を受けた者は、写真を撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。
撮影者が写真を使用する場合は、発注者・設計者の承諾を必要とする。
4）中間検査または、監督員の指示により手直しを命ぜられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。

⑫ 責任施工

特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下請負人の連帯責任とし、保証書を提出する。

⑬ 工事報告書

工事の進捗度表、作業員の出発報告、工事箇所図及び工事現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末毎に提出する。

⑭ 設備工事との取合い

1）設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。
2）設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所等は、下記による。
位置／大きさ 100mm 125mm 150mm 175mm 200mm
補強筋箇所数 梁 壁 床
鉄骨部のスリーブ及び補強筋は本工事に含むものとする。
軽鉄下地で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。なお箇所数は、下記による。
イ）天井部分 箇所 箇所
ロ）壁部分 箇所 箇所
他 工 事 と の 取 合 い 建築工事 電気工事 機械工事 備 考
機器の基礎、換気扇取付用枠 梁、床、壁貫通部の補強 梁、床、壁貫通部のスリーブ、型枠 外気取付ガラー、床下水槽マンホール蓋 ステンレス流し台等 換気フード、レンジフードファン 取付枠（鋼製）とも 天井、壁、床、点検口、プロパンボンベ庫 下流し、足洗場の給水、排水、玄関の排水 小便器仕切板（陶器製）、タオル掛（下地共） 洗面所、手洗所等の鏡 ボイラーの煙突 実験台に付属する設備機器 埋込み分電盤、端子盤等の壁補強 埋込み分電盤、端子盤等の型枠 天井、壁ボード類の地下補強 簡易間仕切り（内装パネル）内の位置ボックス及び配管の取付 屋内・屋外に設置する発電機、配電盤、制御盤、受水槽、ポンプ等の基礎、防油堤 屋上に設置するテレビアンテナ・避雷針等の設備基礎 配線ビッド及び蓋 照明器具幹線等の吊りボルト用インサート 身体障害者用の手すり 洗濯機用防水パン及びトラップ F F暖房機・クーラー等の配管用スリーブ 電話・テレビ等の配線用スリーブ クーラー取付ボルト用インサート ユニツトバス本体・付属品（シャワー金具・手すり・鏡・照明） ユニツトバス用換気扇 消火器 自動扉、電動S、電動ルーバー、 防火設備の附随制御機器、感知器 地下タンク室

⑮ 設計G L

※図示 ・設計GL＝現状GL
・地区の区分に応じた風速（V（m/sec）） 30（県内全域）
・地面粗度区分 ・Ⅰ・Ⅱ ○Ⅲ・Ⅳ
・多雪地域の指定 垂直積雪量 1.00m

⑯ 工事現場の掲示板

工事現場には、下記掲示板を設置する。（記入例）
90cm
60cm（75cm）
上段の地色は、白色
文字は、青色
下段の地色は、青色
文字は、白色
（注意事項）
①（監 修）内は、監修を委託した場合。
②業者名が多くなった場合でも、縦75cm以内とする。
③工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、角ゴシック体とする。

⑰ 施工の検査等

監督員等の検査を受ける工程は次のものとする。
※根切り掘削完了時 ※主要構造部の配筋 ・型枠の組立て
その他監督員が指示するもの

⑱ 施工の立会い等

請負契約約款第14条第2項に定める監督員等の立会いのうえ施工するものは次のものとする。
※杭打ち ○コンクリートスランプ確認及び打込み ○屋外タイル圧着試験
その他監督員等の指示するもの

20 中間検査

中間検査の実施 ※有・無
実施時期 ※全体工事完了時・

⑲ 公共事業労務調査等に対する協力

・受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。
1）調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
2）調査票等を提出した事業所が発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
3）正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い、就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
4）対象工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者（当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請け人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
・本工事が「建設副産物実態調査」の対象である場合、工事完了後速やかに調査票を作成し、監督員に提出しなければならない。

⑳ 保 険

工事目的物、工事材料等に生ずる損害を填補する保険は、下記による。
※建設工事保険又は組立保険（工事対象物を全て解体する工事を除く）
加入期間 引渡しまで（引き渡しを要しない工事の場合は、工事完了まで）

㉑ 室内空気汚染対策

室内空気汚染対策の実施 ※実施する・実施しない
1）測定の有無等
測定する場合は、下記の通り揮発性有機化合物について室内濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。
イ）測定の有無 ※有・無
ロ）測定対象室
測定は原則として、内装仕上げ材料の仕様が大きく異なる居室毎に行う。ただし、居室の規模が著しく異なる場合は、それぞれ実施する。
内装改修を行った居室について測定を行う。
ハ）1室当たりの測定箇所数
室の床面積 A（㎡） A≤50 50<A≤200 200<A≤500 500<A
測定箇所数 1 2 3 4
全ての測定箇所において、二）の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。
二）測定対象化学物質及び測定方法
測定対象化学物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びブチレンとし、同時に測定する。測定方法は、パッシブ型採集機器を用い、国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課長通知（平成24年4月5日聞登整第4号）「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」により行う。
ホ）測定時期
測定は下記の時期に行うものとする。
①測定対象化学物質が、関連工事による測定対象室への流入や急激な拡散がほぼなくなり、引き渡し後の室内空気環境と同程度になった時期。
②別途工事又は家具の設置等が行われる前。
③内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること。
④中央式空調設備のように換気を行いつつ空調設備を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していること。
ヘ）測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合の措置
測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定を行う。
ト）その他、採取、測定及び分析の方法は、上記二）の国土交通省通知によるほか、監督員の指示による。
2）施工中・施工後の通風、換気
接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分管理し、適切な乾燥時間をとるようにする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図るものとする。
3）引き渡し時
室内空気中に化学物質を放散するおそれのある建築材料等の使用状況の一覧表を提出する。
4）揮発性有機化合物を放散させる建築材料等本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のイ）からホ）の事項を満たすものとする。
イ）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ロ）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びブチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ハ）接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシンを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ニ）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ホ）上記のイ）、ハ）、ニ）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。
※「規制対象外」のもの
①JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
ア）非ホルムアルデヒド系接着剤使用
イ）接着剤等不使用
ウ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料を使用
エ）ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
オ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
カ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
・「第三種」のもの
①JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
③旧JISのE〇規格品

㉒ 名札の着帯

現場代理人及び主任（監理）技術者は、工事期間中は次に定める様式例等による顔写真入り名札を着帯すること。（但し、請求額1,000万円以上の工事）
71mm
7mm
55mm
10mm
10mm
10mm
40mm
8mm
21mm 13mm 42mm 21mm 30mm 21mm
91mm
（注意事項）
①名札として使用する用紙（台紙）は白色、寸法は上図（名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm）のとおりにする。
②顔写真（カラー写真）の寸法は縦4.0cm×横3.0cmとし、撮影する部分は胸から上の上半身とする。
③ケースの寸法は上記①の用紙（台紙）が入る大きさとする。

㉓ 施工体制台帳の作成等

当該台帳を現場に備え付け、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げること。

設 計

工事名 黒島天領北前船資料館災害復旧工事
図面名 建築改修工事仕様書 その1 図面番号 A-01

20 排出ガス対策型建設機械 21 創意工夫等 22 保険の付与及び事故の補償 23 電子納品 24 騒音振動の防止 25 隣接建物又は工作物の調査 26 敷地の状況確認 27 総合評価時における技術提案 28 ダンプトラック等による過積載等の防止 29 景観への配慮

2章 仮設工事 30 工事用水 31 工事用電力 32 工事用道路 33 指定仮設 34 足場その他

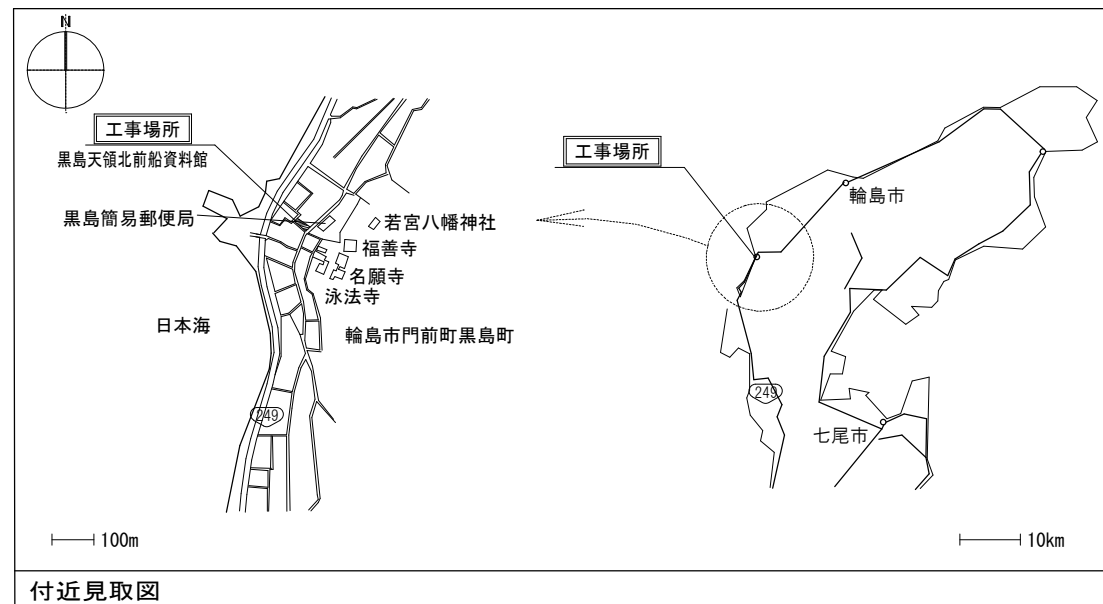
3章 防水改修工事 35 一般事項 36 アスファルト防水 37 改質アスファルトシート防水 38 合成高分子ルーフィングシート防水

4章 防水改修工事 4章-1 外壁改修工事共通事項 4章-2 コンクリート打放し仕上げ外壁改修工事 4章-3 モルタル塗り仕上げ外壁改修工事

5 ウレタン系塗膜防水 6 シーリング 7 防水工事の保証 8 とい 9 アルミニウム製笠木 10 調査 11 改修使用材料

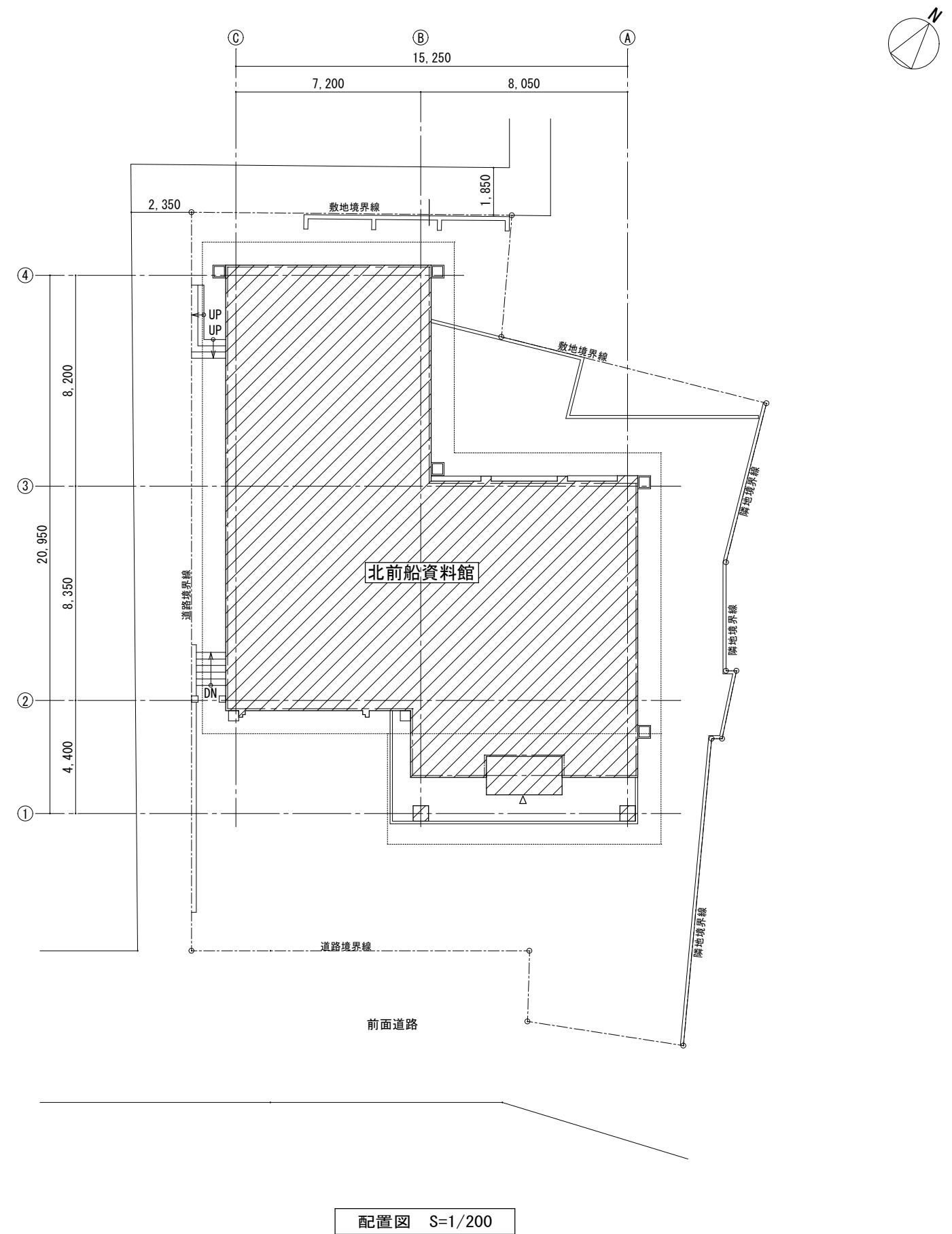
設計 輪島市 教育委員会 工事名 黒島天領北前船資料館災害復旧工事 図面名 建築改修工事仕様書 その2 図面番号 A-02

4	浮き部改修工法	モルタルを撤去しない場合	[4.1.4] [4.3.5] [4.3.11~16] [表4.3.5~6]				②	アルミニウム製 建具	④見本の製作等 ・建具見本の製作 (建具番号) ・特殊な建具の仮組 (建具番号) ⑤建具回り等の充填モルタル 耐剤 (モルタルに混入する防水剤の品質)	[6.15.3]				14	軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) [5.12.2] [表5.12.1]		4	ビニル床シート張り	材料 [6.8.2]																					
			改修工法の種類	アンカー・ビスの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		充填量 又は注入力 (ml/箇所)		項目	混合割合		凝結及び安定性 (JIS R 5201)		曲げ及び圧縮強度 (%)		吸水比 (%)		⑤		材料	種類		JISの記号		色 柄		厚さ・高さ (mm)													
				一般部	指定部	一般部	指定部				安定性		安定性		安定性		安定性					※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地		・マーブル柄		※2.0		・2.5											
														※25		※25		※25		※25		※F S		※無地																	



■工事概要

工事名称	黒島天領北前船資料館災害復旧工事
工事場所	輪島市門前町黒島町口の 1 1 4 番地 1
工 種	災害復旧工事
構 造	鉄筋コンクリート造 地下 1 階、地上 2 階建て
規 模	建築面積：260.59㎡ 延べ床面積約390㎡
敷 地	敷地面積：562㎡
主要用途	資料館
付帯工事	電気設備工事、機械設備工事
外構工事	敷地整備
そ の 他	
工事内容	
内 部	床・壁にクラック損傷箇所の補修
	建具の部品調整、アルミカバー工法
外 壁	外壁にクラック及び欠損箇所の補修
外 構	不陸、欠落の補修
	附属する階段・塀の損傷箇所の補修
	灯籠撤去・新設
電気設備工事	損傷個所の照明器具の取替え
機械設備工事	壁付けエアコン（事務室）の室内外機取替え
	2 階天井裏ダクト外れの補修



■内部仕上表

階数	室名	天井高	床	下地	巾木	H	壁	下地	天井	下地	廻縁	ブラインドカーテン	BOX	造作材	点検口	石綿の有無	備考
地階 (改修前)	収蔵庫		塗床	t20増打 コンクリート打放シ	塗床 (目地切)	100	t15増打 コンクリート打放シ		コンクリート打放シ								
	機械室		△	△	△	△	△		△								
	前室		△	△	△	△	△		△								
	階段A		△	モルタル 金コテ押エ	△	△	△		△								磁器質ノンスリップタイル貼
1階 (改修前)	エントランスルーム	2,500	磁器質タイル貼 (300角・300 x 75・75角)	モルタルヌリ	7カルシウム 石目調仕上	75	特殊MP塗	モルタル 金コテ押エ	t12岩綿吸音板貼	LGS下地 t9. OPB捨貼	ビニール						電話台 タモ練付ポリウレタン塗装 木製格子 (草マキ・素地) 床タイル指示デザイン貼
	ロビー		カーペットタイル貼	△	△	△	△	△	2階展示室に準ずる							壁-無	壁化粧格子 米梅OSCL塗
	ビデオコーナー	2,500	△	△	△	△	△	△	t12岩綿吸音板貼	LGS下地 t9. OPB捨貼	ビニール						ベンチ及びTV台ヤニ松練付ポリウレタン塗装
	事務室	2,415	t2.0 ビニール床タイル貼	△	ビニール	60	△	△	t9化粧PB貼	LGS下地	△	縦型	木製CL 120 x 150				受付カウンター タモ練付ポリウレタン塗装
	L G ・WC	2,300	磁器質タイル貼	△			磁器質タイル貼 一部特殊MP塗	モルタルヌリ	ビニールクロス貼	LGS下地 t9. OPB捨貼	△						ブース及び天板 テラゾーブロック ライニングCB積 100mm 飾棚 タモ練付ポリウレタン塗装 ビクトサインドア貼付
	展示室	7,200～ 8,000	塗床	t20増打 コンクリート打放シ	塗床 (目地切)	100	EP塗 一部LGS+PB t12.5貼 EP塗	t15増打 コンクリート打放シ	EP塗	△	ビニール 一部木製OSCL					床-無 壁-有	
2階 (改修前)	展示室	2,400～4,520 3,620	カーペットタイル貼	モルタルヌリ	ビニール	60	特殊MP塗	モルタル 金コテ押エ	立体成型岩綿吸音板貼 t15	LGS下地 t9. OPB捨貼	木製OSCL					壁-無	化粧竿 米梅OSCL塗
	階段B		△	△	△	△	△	△ 一部LGS下地t9+12PB捨貼	△	△	△					壁-無	手摺笠木 タモ集成材ポリウレタン塗装 t8フロート硝子 段鼻ステンレスノンスリップW35 段裏モルタル塗7カルシウム石目調
	展示ケース	2,100	t9ラワン合板捨貼 ビニルクロス貼	鉄骨下地 t12コンパネ捨貼	目透シ		ビニルクロス貼	LGS下地t9+12PB捨貼 一部t12PB (GL工法)	ビニールクロス貼	LGS下地 t9. OPB捨貼	ビニール						外部巾木及び見切り スチールPL-1.2 特殊MP塗 (吹付) 展示ケース外壁面 現場発砲ウレタン吹付t25



地階 (改修後)	収蔵庫		塗床 (エポキシ系樹脂系薄膜) (下地調整共) ひび割れ補修		塗床 (目地切)	100	左官打ち放し補修程度 ひび割れ補修										
	機械室		△		△	△	△										
	前室		△		△	△	△										
	階段A																
1階 (改修後)	エントランスルーム		磁器質タイル貼 (300角・300x75・75角)				E P-M塗 (下地調整共) ひび割れ補修										
	ロビー						△										
	ビデオコーナー						△										
	事務室						△										
	展示室		塗床 (エポキシ系樹脂系薄膜) (下地調整共) ひび割れ補修				E P 塗 (下地調整共) ひび割れ補修										
2階 (改修後)	展示室						E P-M塗 (下地調整共) ひび割れ補修		立体成型岩綿吸音板 t15 (下地共) (一部 撤去・新設)	LGS下地 t9.OPB捨貼							
	階段B						△										

△・・・上記と同じ

■外部仕上表 (既存)

(改修前)	屋根	瓦葺 (和型浅瓦53型) アスファルトルーフィング22kg t40特殊繊維入モルタル塗 下地材 瓦棧15 x 30 水切下地21 x 90 草マキー等材 腐蝕防止加工 (CCA加工)	石綿の有無
		軒先 丸十軒瓦 棟 5段熨斗瓦及び3段熨斗瓦 丸軒瓦 鬼瓦 (尺及び7寸) 面戸付棟巴 雪止メ 3段熨斗瓦 t0.4銅板成型水切 輪形雪止メ瓦 造作材 広小舞 淀 (30 x 90) 草マキ無節	
	軒裏	コンクリート打放シ 外張薄塗材E吹付	有
	外壁	コンクリート打放シ 外張薄塗材E吹付 一部 押縁下見板貼 杉板t9 押縁24 x 36 木材保護塗料塗	有
	巾木	豆砂利洗出シ H300	
	玄関ポーチ	床 モルタル塗 磁器質タイル貼 (300角・300 x 75・75角 指示デザイン貼) 天井 LGS下地25型 t4天然木化粧板貼 廻縁 木製 (木材保護塗料塗)	
		柱型 コンクリート打放シ 外張薄塗材E吹付	
	集水樹蓋	グレーチングT-Z 400 x 400 受枠付 排水パイプ VP管150φ埋設 管底 樹底50mm	
	犬走り	コンクリートコテ押エ 刷毛引 目地切@2,500	
	コンクリート塀	巾木 豆砂利洗出シ 壁 コンクリート打放シ 外装薄塗材E吹付 笠木 七寸紐丸型瓦 (黒)	
	アスファルト舗装	t50 細粒度アスコン 路盤 t150粒調砕石M=40 縁石 御影石120 x 120 ジェットバーナー仕上 歩車道境界ブロック 150 x 170 x 200 x 600	
	コンクリート擁壁	コンクリート打放シB種 水抜パイプ70φ VP管@800 水抜パイプ裏側透水マット貼 裏込砕石 300 x 300	
	軒樋	塩ビ製 既製品	

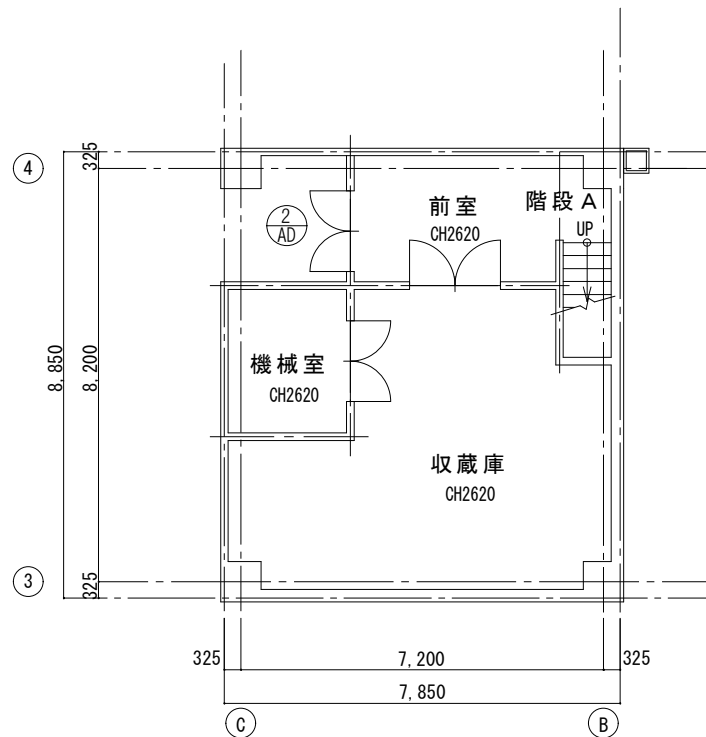
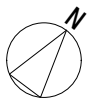


(改修部)

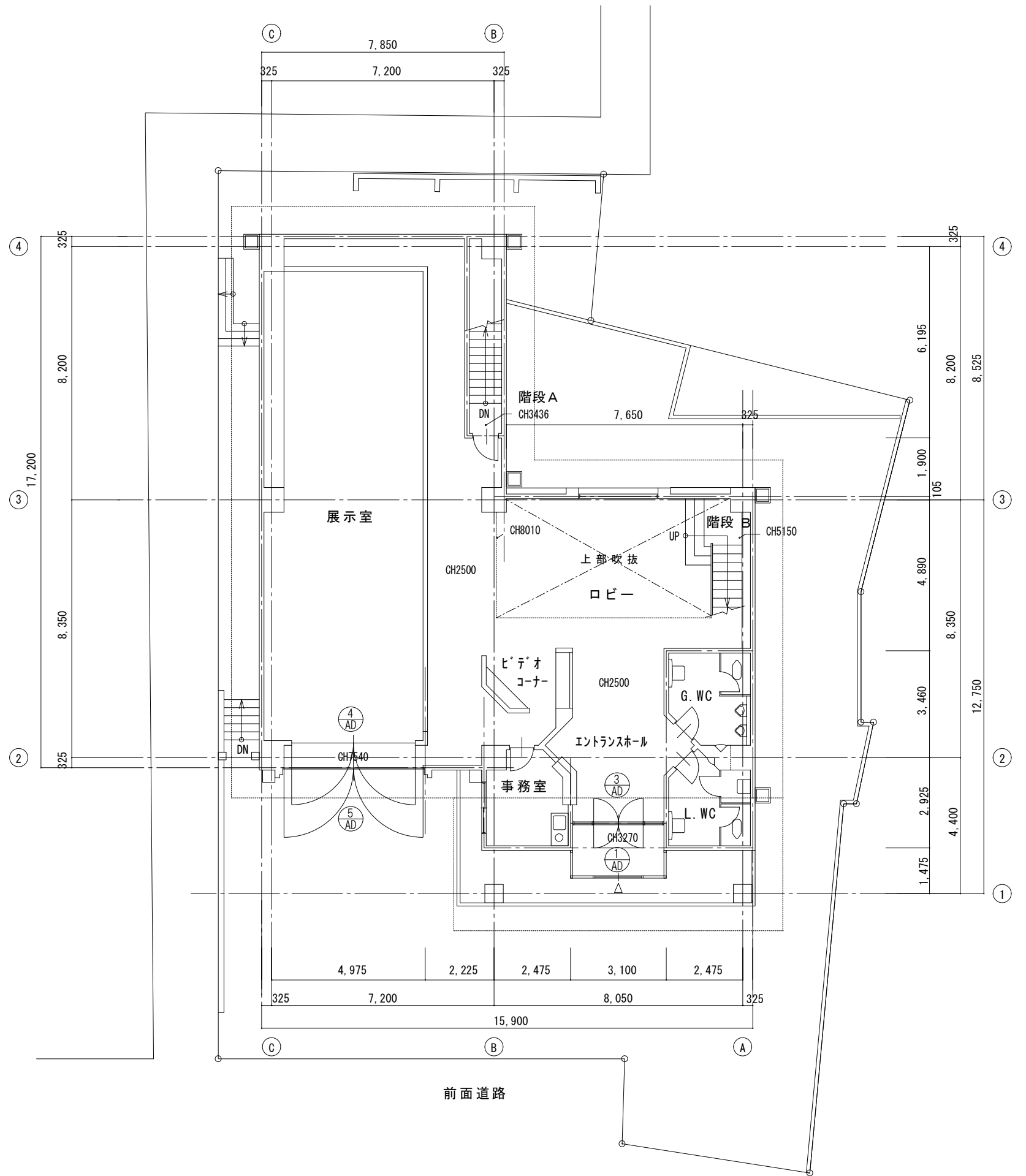
軒裏	コンクリート打放シ 外張薄塗材E吹付 (下地調整C-1)	
外壁	コンクリート打放シ 外張薄塗材E吹付 (下地調整C-1) 一部 押縁下見板貼 杉板t9 押縁24 x 36 木材保護塗料塗	
巾木	豆砂利洗出シ H300	
玄関ポーチ	床 モルタル塗 磁器質タイル貼 (300角・300 x 75・75角 指示デザイン貼) 天井 LGS下地25型 t4天然木化粧板貼 廻縁 木製 (木材保護塗料塗) 柱型 コンクリート打放シ 外張薄塗材E吹付 (下地調整C-1)	
集水樹蓋	グレーチングT-Z 400 x 400 受枠付 排水パイプ VP管150φ埋設 管底 樹底50mm	
犬走り	コンクリートコテ押エ 刷毛引 目地切@2,500	
コンクリート塀	巾木 豆砂利洗出シ 壁 コンクリート打放シ 外装薄塗材E吹付 笠木 七寸紐丸型瓦 (黒)	
アスファルト舗装	t50 細粒度アスコン 路盤 t150粒調砕石M=40 縁石 御影石120 x 120 ジェットバーナー仕上 歩車道境界ブロック 150 x 170 x 200 x 600	

■仕上特記

- 1 コンクリート躯体防水混和材 20kg/m3混入 浸入箇所地中梁上部躯体全てに混入する
- 2 PB：プラスターボード t12PBは全て不燃とする
- 3 特記なき限り特殊MP塗は全てローラー仕上とする



地階平面図 S=1/150



1階平面図 S=1/150



Ohata Architects and Associates

有限会社 オオハタ建築研究所

石川県知事登録 第13055号
一級建築士 第170771号 大畑清隆

年月日

R7. 9

工事名

黒島天領北前船資料館災害復旧工事

図面名

地階平面図、1階平面図

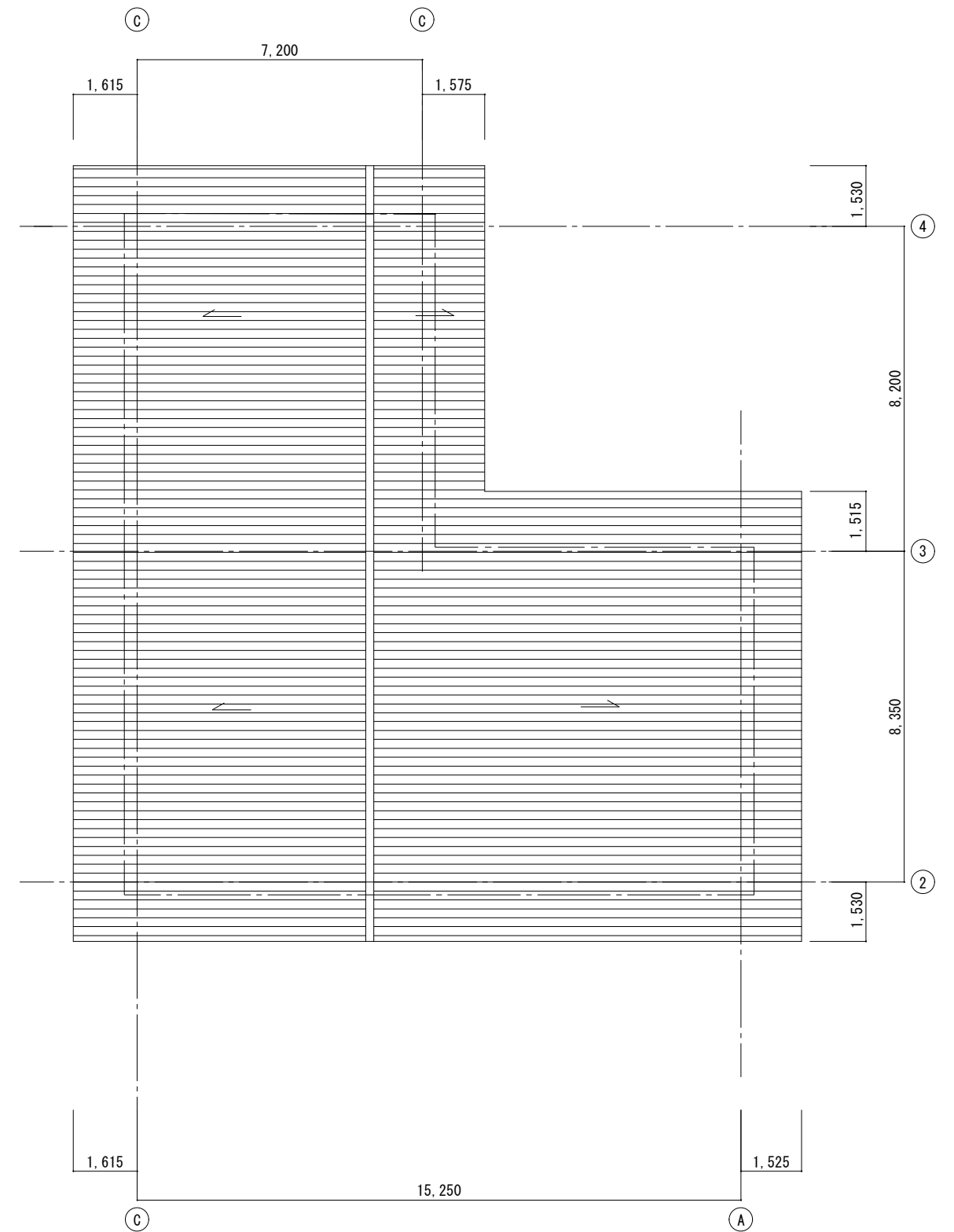
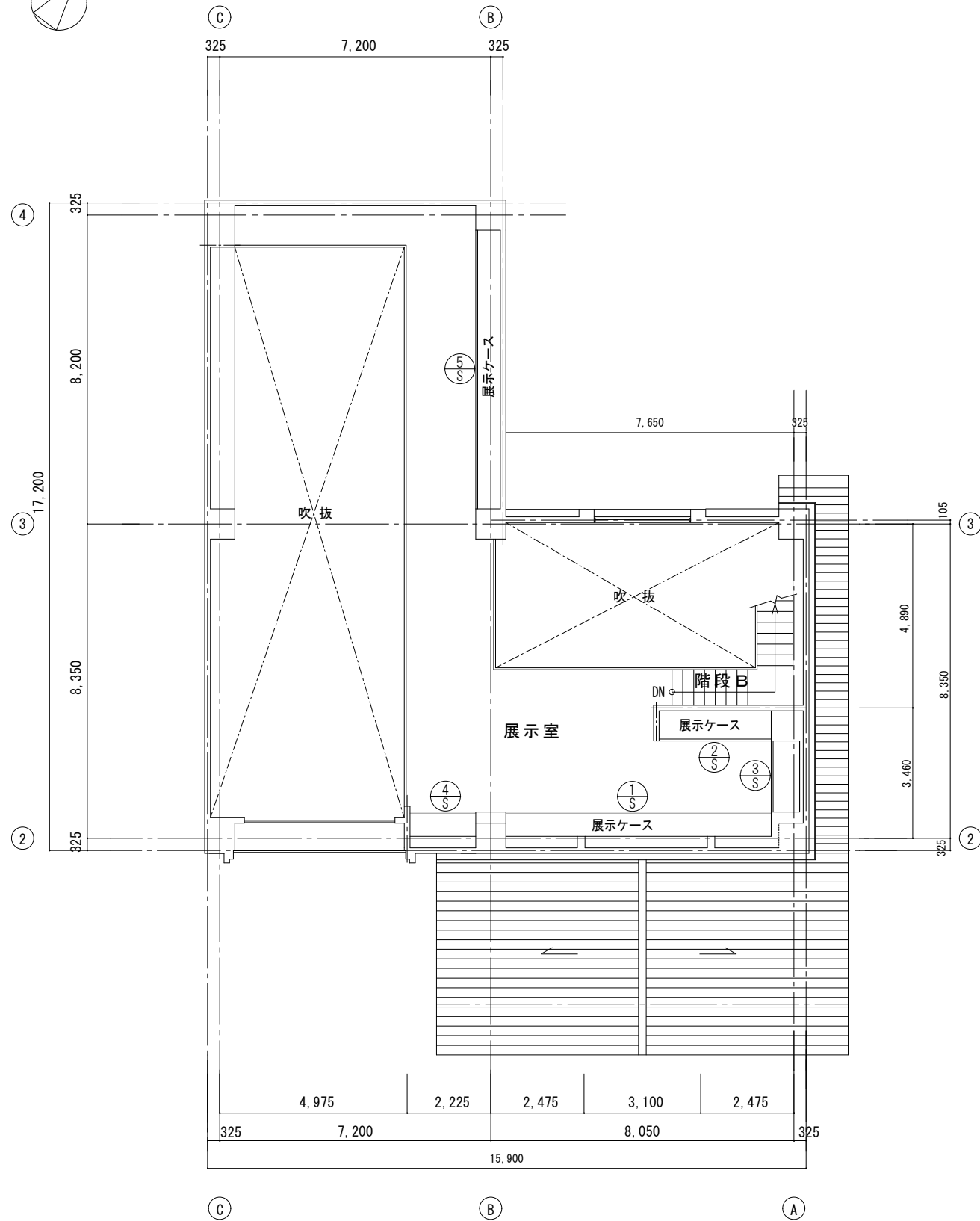
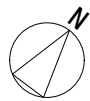
縮尺

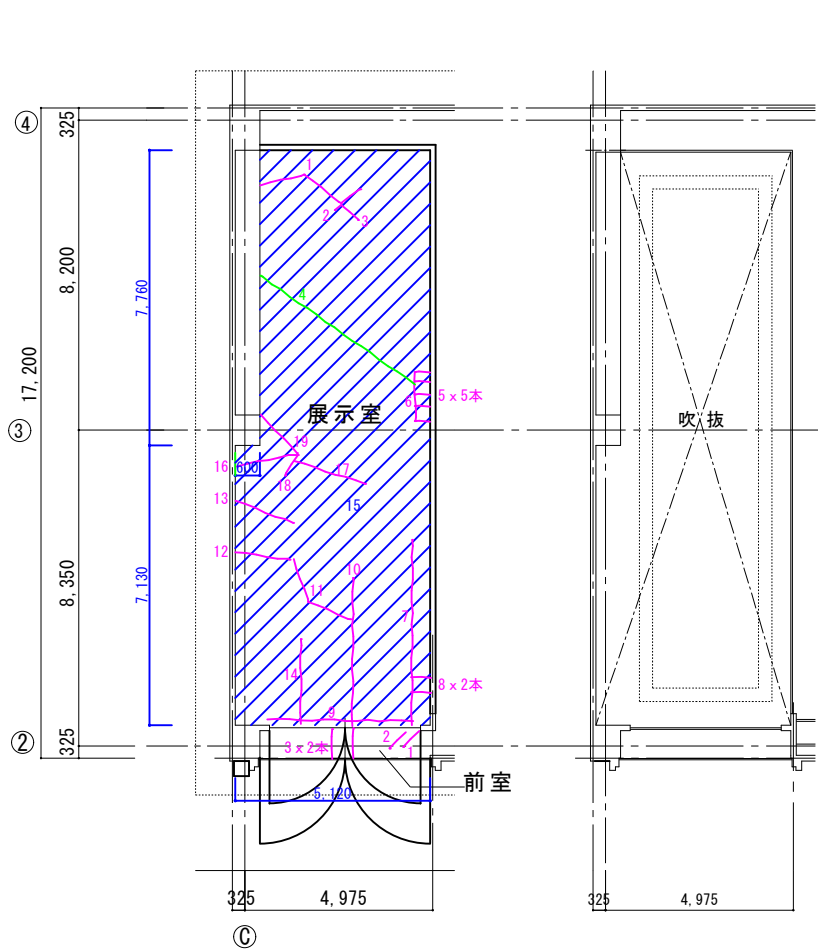
1/150

[A-3]

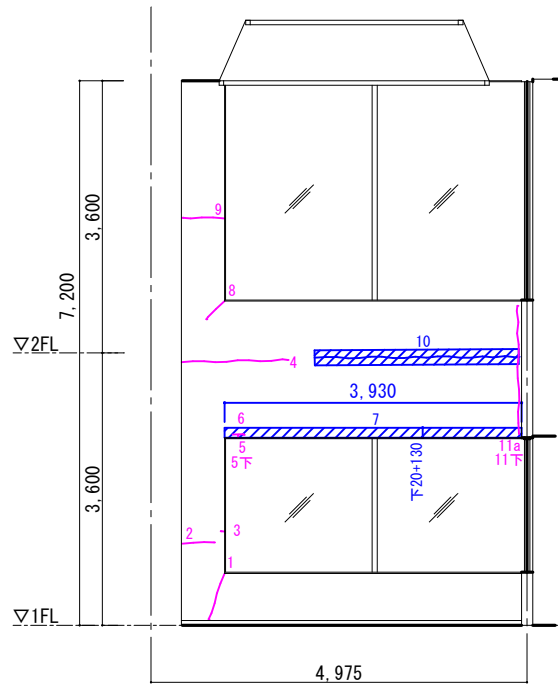
図面番号

A- 07

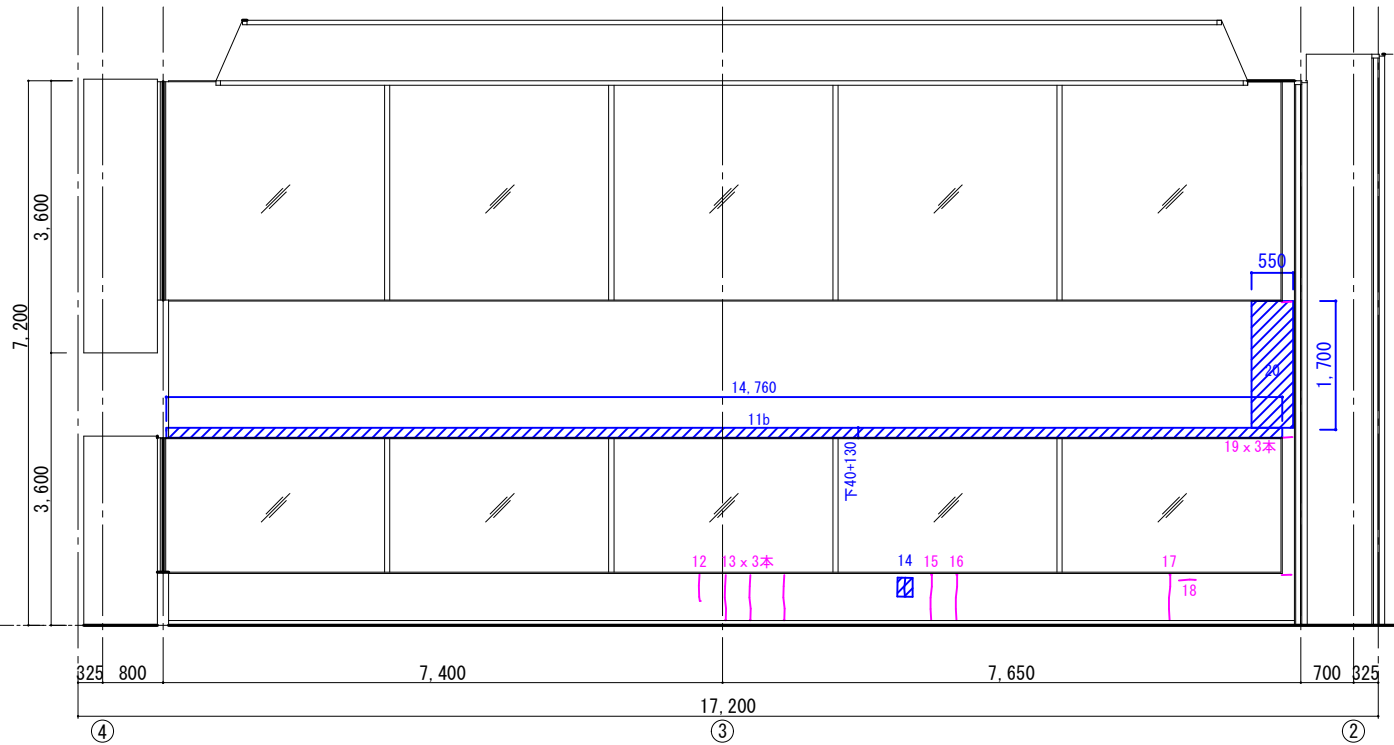




1階展示室 (1/200)



展開図 ~A~ (1/100)



展開図 ~B~ (1/100)

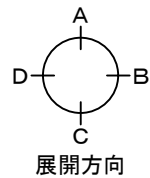
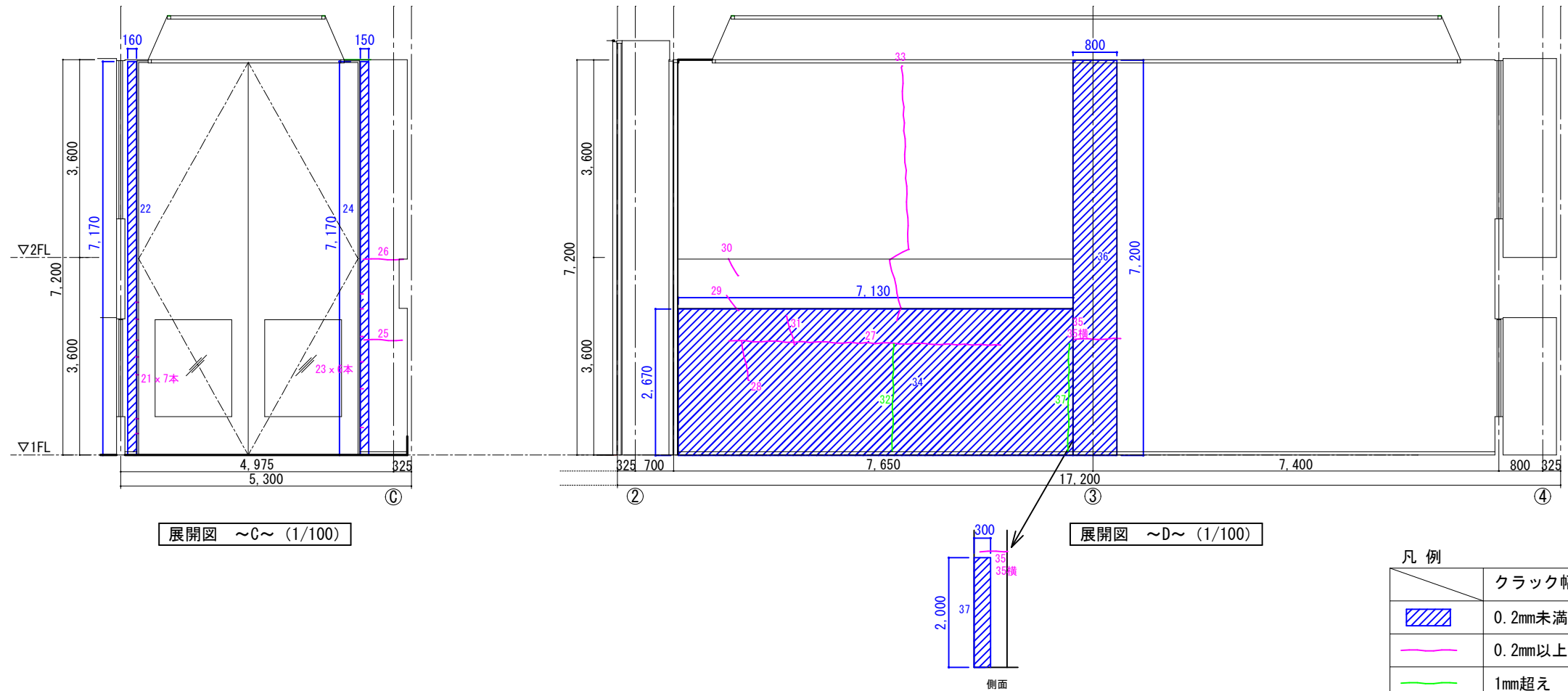
凡 例		
	クラック幅 0.2mm未満	補修方法 塗装塗替えパテ処理
	0.2mm以上1mm以下	樹脂注入工法
	1mm超え	Uカットシール材充填工法
造作家具・内装材の隙間はシール材充填		
損傷番号・・・写真番号に該当		

数量表

写真 番号	展開 方向	クラック 幅 (mm)	クラック長さ(m)			塗装面積(m2)			欠損部面積(m2)			モルタル浮き(m2)			シール (m)	備考
			0.2未満	0.2以上 1.0以下	1.0超	W	H	合計	W	H	合計	W	H	合計		
1	床	1.00		※ 3.02												2.18m+0.84m
2		0.90		※ 0.22												
3		0.65		※ 0.60												
4		1.30			※ 5.00											
5		0.70		※ 2.00												0.4m×5本
6		0.60		※ 1.20												
7		0.65		※ 4.90												
8		0.50		※ 1.00												0.5m×2本
9		0.85		※ 3.84												
10		0.50		※ 3.92												
11		0.65		※ 2.45												1.2m+1.25m
12		0.50		※ 1.45												
13		0.40		※ 1.63												
14		0.65		※ 2.25												
15						5.12	7.13	36.51								
						4.52	7.76	35.08								
16		0.60		※ 1.65												
17		0.45		※ 1.96												
18		0.45		※ 0.64												
19		0.75		※ 1.40												
前室1		0.35		※ 0.60												
前室2		0.45		※ 0.60												
前室3		0.85		※ 1.90												0.95m×2本
合計				※ 37.23	※ 5.00			71.59								

(※塗装箇所を重複を示す)

写真 番号	展開 方向	クラック 幅 (mm)	クラック長さ(m)			塗装面積(m2)			欠損部面積(m2)			モルタル浮き(m2)			シール (m)	備考	
			0.2未満	0.2以上 1.0以下	1.0超	W	H	合計	W	H	合計	W	H	合計			
1	A	0.45		0.64													
2		0.25		0.42													
3		0.25		0.03													
4		0.20		1.40													
5		0.45		※ 0.05												0.03m+下0.02m	
6		0.40		※ 0.15													
7		0.15				3.93	0.15	0.59								0.13m+下0.02m	
8		0.20		0.34													
9		0.20		0.55													
10		0.10	2.70														
11a		0.25		1.72												1.7m+下0.02m	
11b	B	0.15				14.76	0.17	2.51								0.13m+下0.04m	
12		0.30		0.35													
13		0.50		1.80												0.6m×3本	
14		0.15	0.25														
15		0.25		0.60													
16		0.30		0.60													
17		0.40		0.60													
18		0.20		0.21													
19		0.30		0.36												0.12m×3本	
20		0.15				0.55	1.70	0.94									
小計1			2.95	9.82				4.04									
重複しない長さ			2.95	9.62													(※塗装箇所を重複を示す)



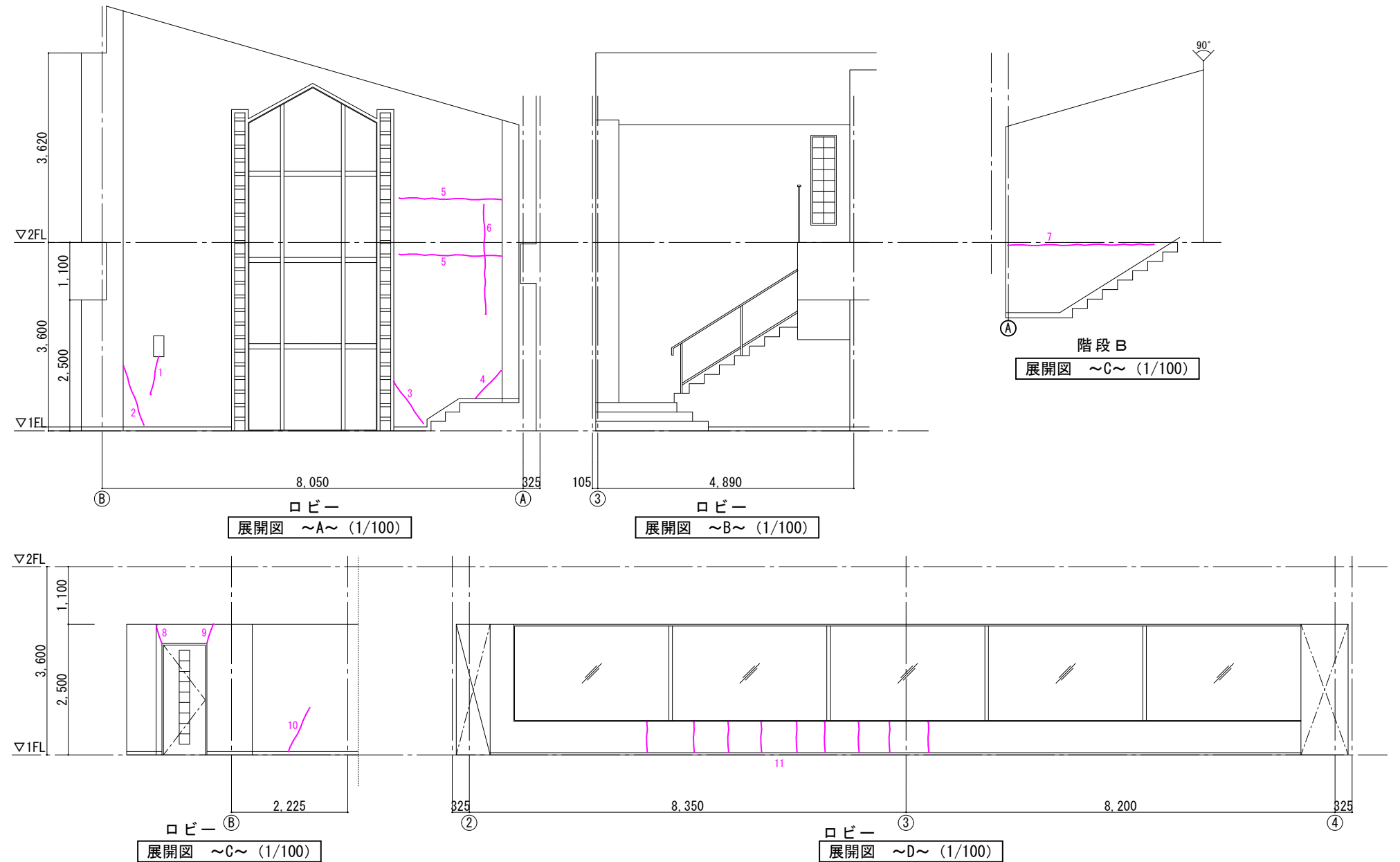
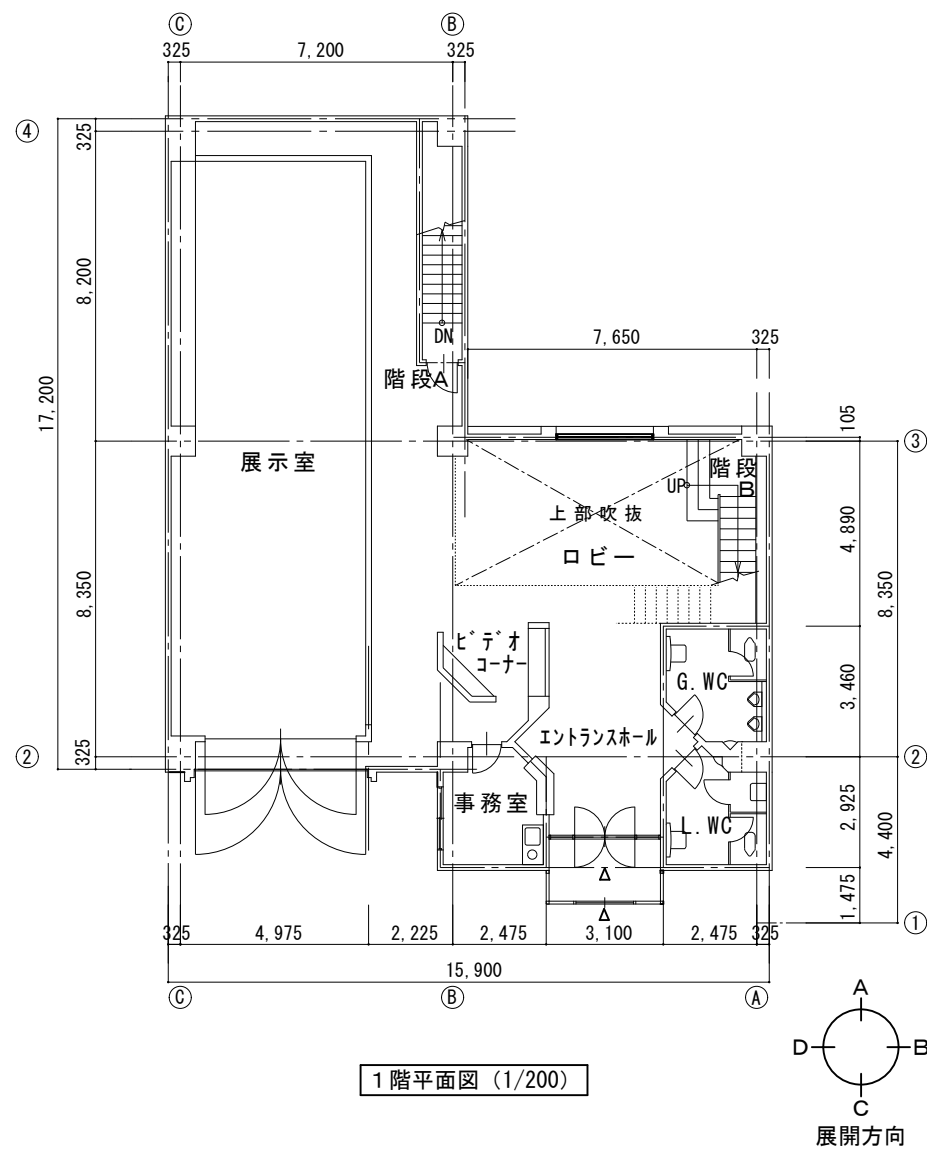
凡 例		
	クラック幅	補修方法
	0.2mm未満	塗装塗替えパテ処理
	0.2mm以上1mm以下	樹脂注入工法
	1mm超え	Uカットシーล材充填工法
造作家具・内装材の隙間はシーล材充填		
損傷番号…写真番号に該当		

数量表

写真 番号	展開 方向	クラック 幅 (mm)	クラック長さ(m)			塗装面積(m2)			欠損部面積(m2)			モルタル浮き(m2)			シーล (m)	備考
			0.2未満	0.2以上 1.0以下	1.0超	W	H	合計	W	H	合計	W	H	合計		
21	C	0.30		※ 0.35												0.05m×7本
22		0.15				0.16	7.17	1.15								
23		0.30		※ 0.24												0.04m×6本
24		0.10				0.15	7.17	1.08								
25		0.20		0.69												
26		0.25		0.96												
27	D	0.35		※ 4.95												
28		0.30		※ 0.72												
29		0.25		0.35												
30		0.20		0.35												
31		0.20		※ 0.56												
32		1.50			※ 1.95											塗装剥がれ
33		0.40		5.04												
34		0.10				7.13	2.67	19.04								
35		0.25		※ 1.35												
36		0.15				0.80	7.20	5.76								
37		10.0			※ 2.00	0.30	2.00	0.60								塗装剥がれ
小計2				15.56	3.95			27.63								
小計1			2.95	9.82				4.04								
合計			2.95	25.38	3.95			31.67								
重複しない長さ			2.95	17.01												

(※塗装箇所を重複を示す)

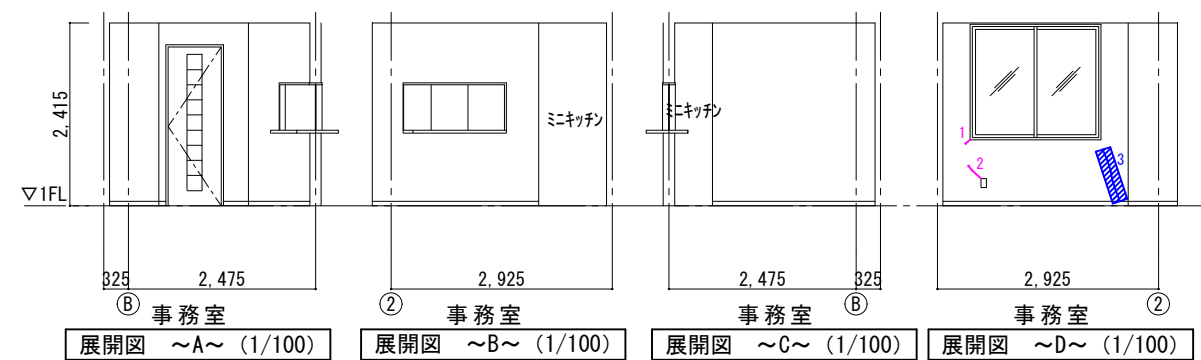
塗装面積(m2)			
	W	H	合計
壁クラック総長さ(m) 0.2以上1.0以下	0.20	17.01	3.40
1.0超			0
塗装面積			31.67
合計			35.07
0.2未満	0.20	2.95	0.59






数量表

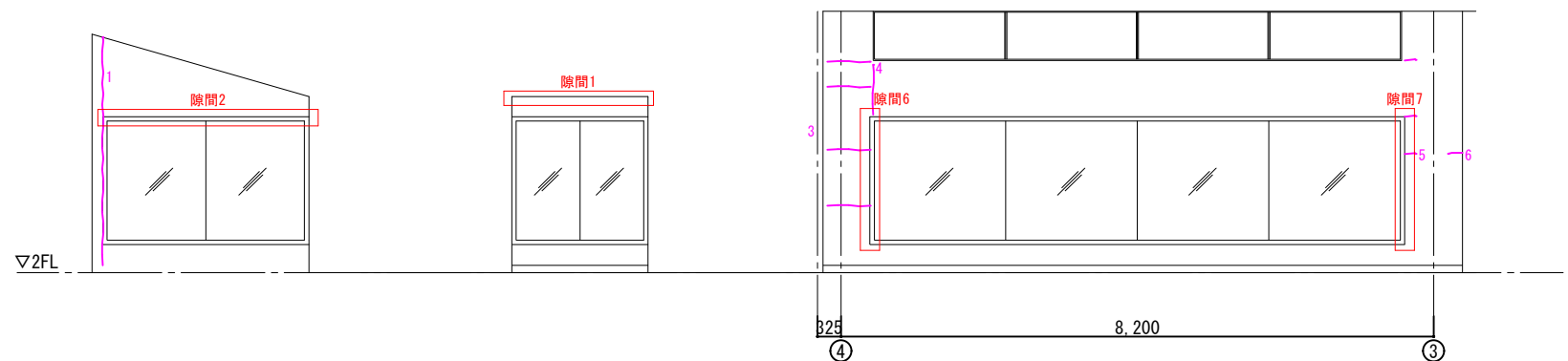
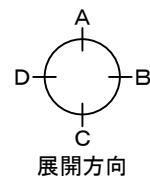
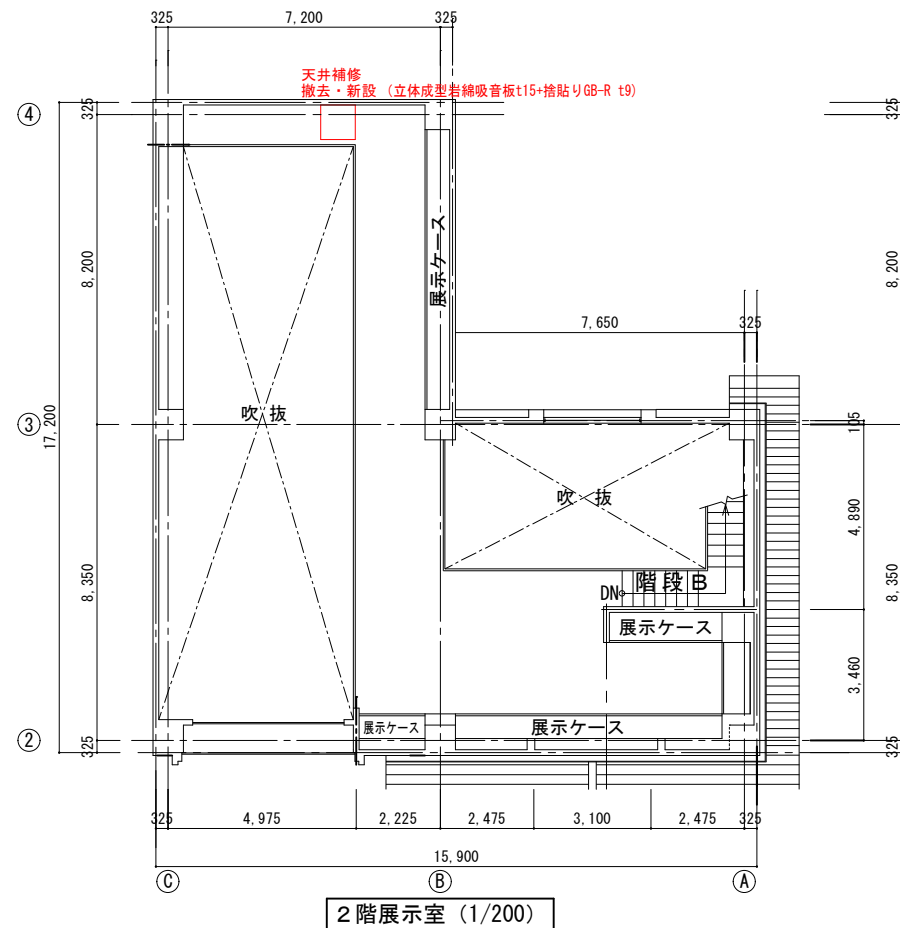
[illegible]

(※塗装箇所を重複を示す)



塗装面積(m2)			
	W	H	合計
クラック総長さ(m) 0.2以上1.0以下	0.20	19.49	3.90
クラック総長さ(m) 0.2以上1.0以下	0.20	0.32	0.06
0.2未満	0.20	0.72	0.14

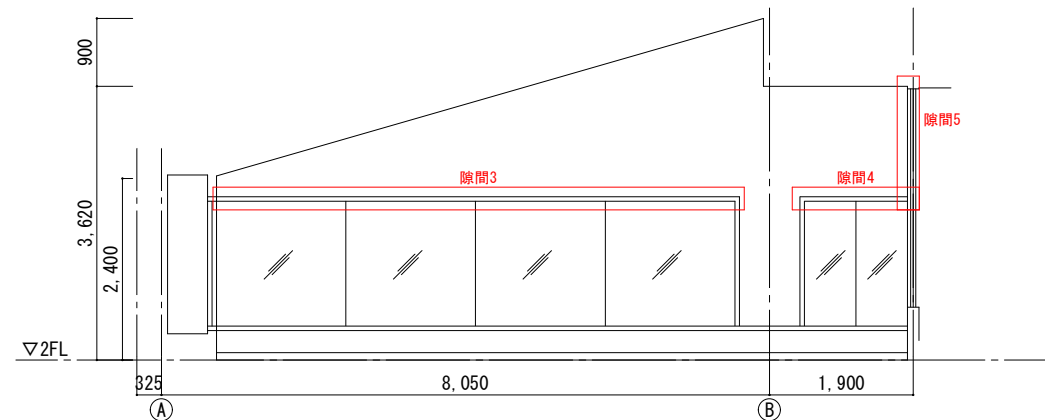
凡 例	クラック幅	補修方法
	0.2mm未満	塗装塗替えパテ処理
	0.2mm以上1mm以下	樹脂注入工法
	1mm超え	Uカットシール材充填工法
造作家具・内装材の隙間はシール材充填		
損傷番号・・・写真番号に該当		



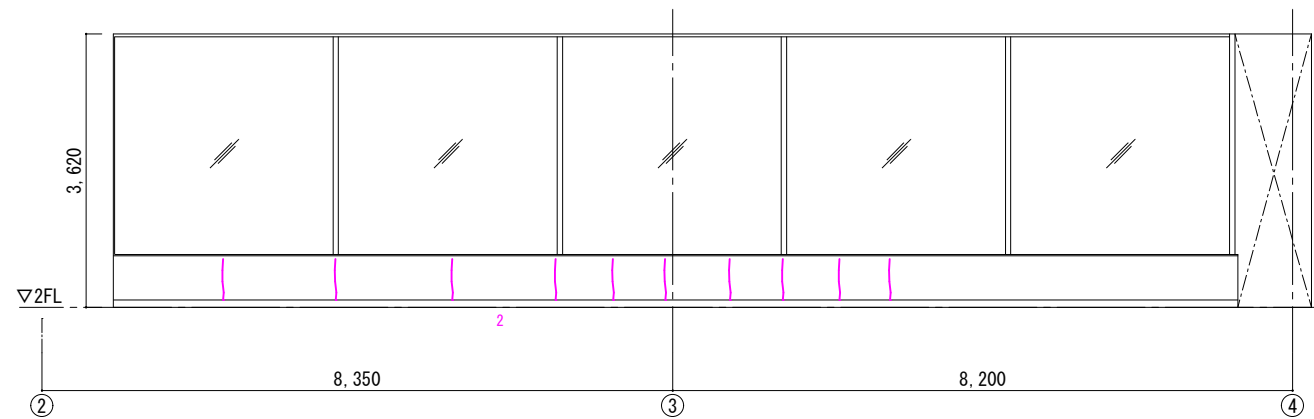
展開図 ~A~ (1/100)

展開図 ~B1~ (1/100)




展開図 ~B2~ (1/100)



展開図 ~C~ (1/100)



展開図 ~D~ (1/100)

凡 例		
	クラック幅 0.2mm未満	補修方法 塗装塗替えパテ処理
	0.2mm以上1mm以下	樹脂注入工法
	1mm超え	Uカットシール材充填工法
造作家具・内装材の隙間はシール材充填		
損傷番号・・・写真番号に該当		

数量表

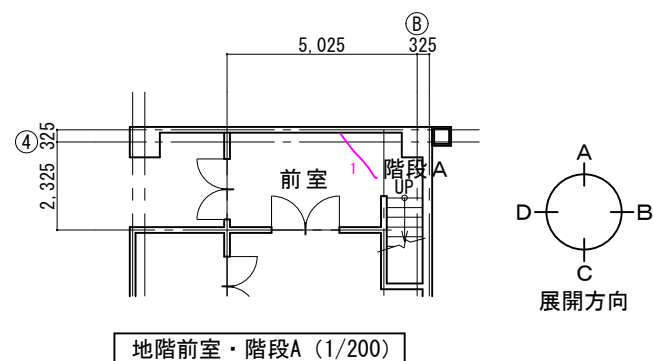
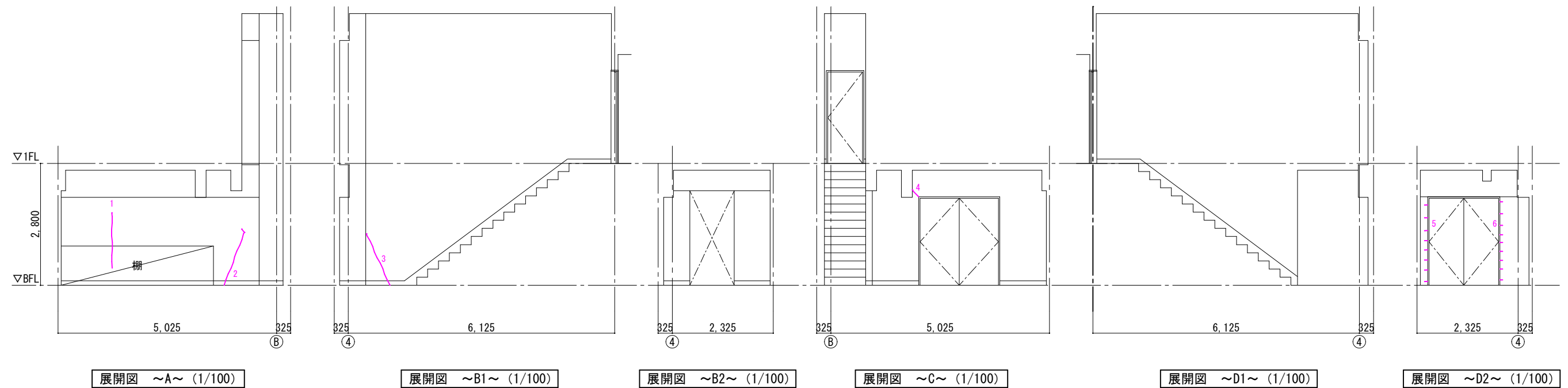
[illegible]




(※塗装箇所を重複を示す)

塗装面積(m2)			
	W	H	合計
クラック総長さ(m) 0.2以上1.0以下	0.20	12.26	2.45

[illegible]

(※塗装箇所を重複を示す)



凡 例	クラック幅	補修方法
	0.2mm未満	塗装塗替えパテ処理
	0.2mm以上1mm以下	樹脂注入工法
	1mm超え	Uカットシール材充填工法
造作家具・内装材の隙間はシール材充填		
損傷番号・・・写真番号に該当		

数量表

[illegible]

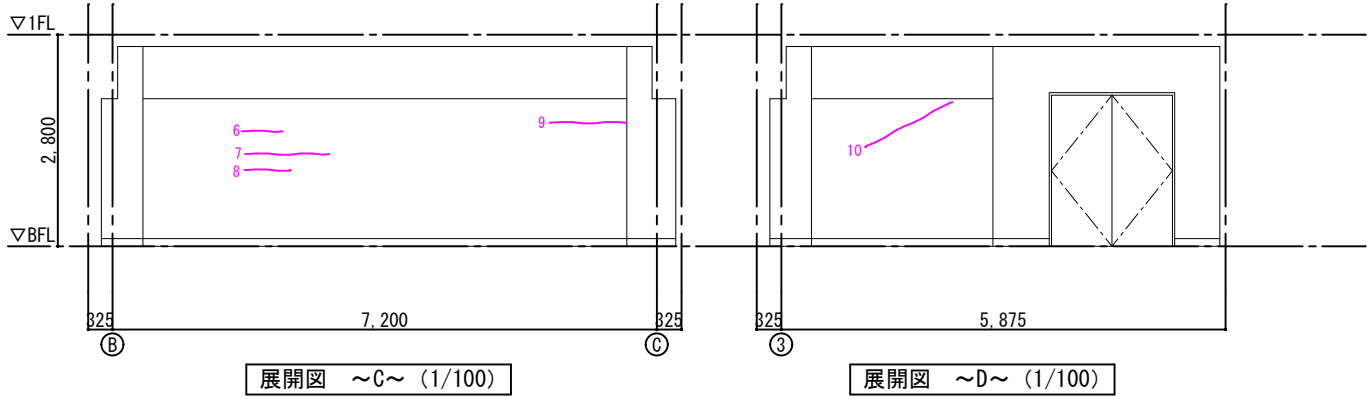
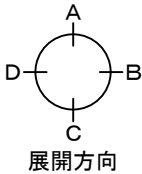
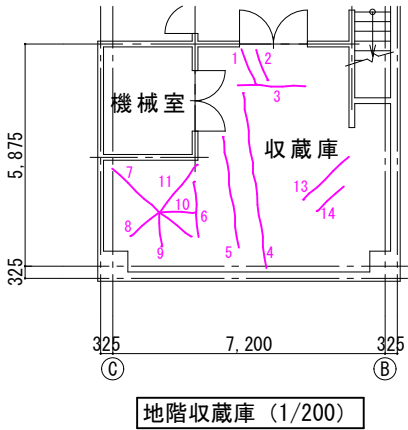
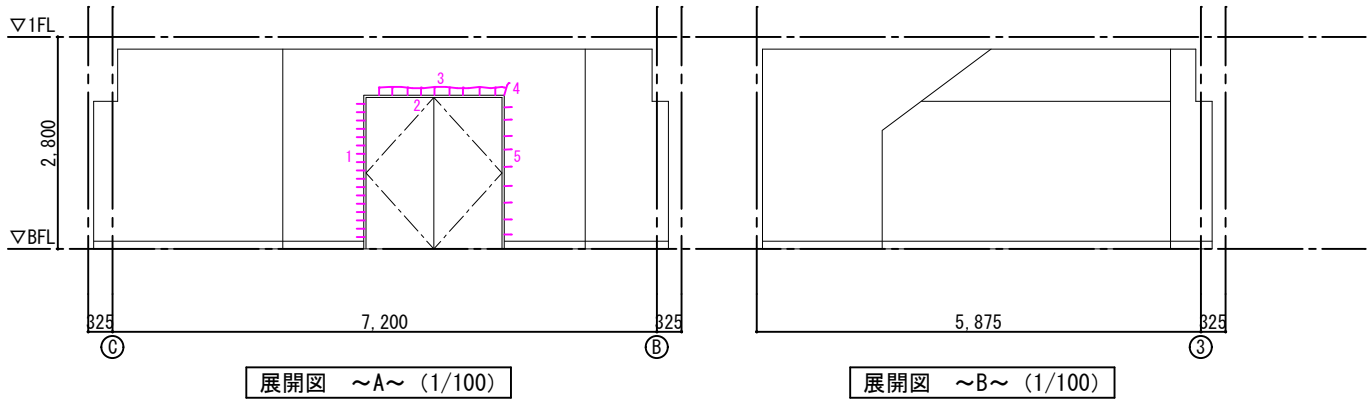
(※塗装箇所を重複を示す)

塗装面積(m2)			
	W	H	合計
クラック総長さ(m)			
0.2以上1.0以下	0.20	1.49	0.30

[illegible]

(※塗装箇所を重複を示す)

塗装面積(m2)			
	W	H	合計
クラック総長さ(m) 0.2以上1.0以下	0.20	5.20	1.04



凡 例		
	クラック幅	補修方法
	0. 2mm未満	塗装塗替えパテ処理
	0. 2mm以上1mm以下	樹脂注入工法
	1mm超え	Uカットシーล材充填工法
造作家具・内装材の隙間はシーล材充填		
損傷番号…写真番号に該当		

数量表

写真 番号	展開 方向	クラック 幅 (mm)	クラック長さ(m)			塗装面積(m2)			欠損部面積(m2)			モルタル浮き(m2)			シー ル (m)	備考
			0. 2未満	0. 2以上 1. 0以下	1. 0超	W	H	合計	W	H	合計	W	H	合計		
1	床	0. 30		1. 00												
2		0. 30		0. 86												
3		0. 60		1. 77												
4		0. 40		4. 67												
5		0. 40		2. 96												
6		0. 45		1. 47												
7		0. 80		1. 70												
8		0. 65		0. 99												
9		0. 95		0. 90												
10		0. 90		1. 05												
11		0. 75		1. 56												
12		0. 35		0. 95												
13		0. 25		1. 66												
14		0. 30		0. 97												
合計				22. 51												

(※塗装箇所を重複を示す)

塗装面積(m2)			
	W	H	合計
クラック総長さ(m) 0. 2以上1. 0以下	0. 20	22. 51	4. 50

写真 番号	展開 方向	クラック 幅 (mm)	クラック長さ(m)			塗装面積(m2)			欠損部面積(m2)			モルタル浮き(m2)			シー ル (m)	備考
			0.2未満	0.2以上 1.0以下	1.0超	W	H	合計	W	H	合計	W	H	合計		
1	A	0.25		1.53												0.09m×17本
2		0.35		0.90												0.10m×9本
3		0.20		1.66												
4		0.40		0.25												0.08m+0.17m
5		0.25		0.81												0.09m×9本
6		0.30		0.53												
7		0.35		1.10												
8		0.30		0.60												
9		0.30		1.00												
10		0.35		1.30												
合計				9.68												

(※塗装箇所を重複を示す)

塗装面積(m2)			
	W	H	合計
クラック総長さ(m) 0. 2以上1. 0以下	0. 20	9. 68	1. 94

現況図
外壁

南側立面図 S=1/200

東側立面図 S=1/200

北側立面図 S=1/200

西側立面図 S=1/200

凡 例

損傷	補修方法
クラック幅 0.2mm以上1mm以下	リフリート工法DS仕様
欠損	リフリート工法DS仕様
仕上材損傷	仕上材改修
	塗装塗替えパテ処理

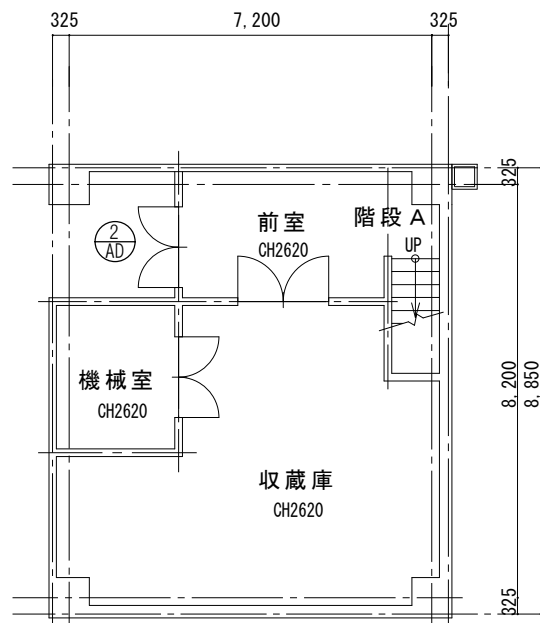
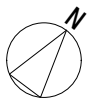
損傷番号…写真番号に該当

数量表

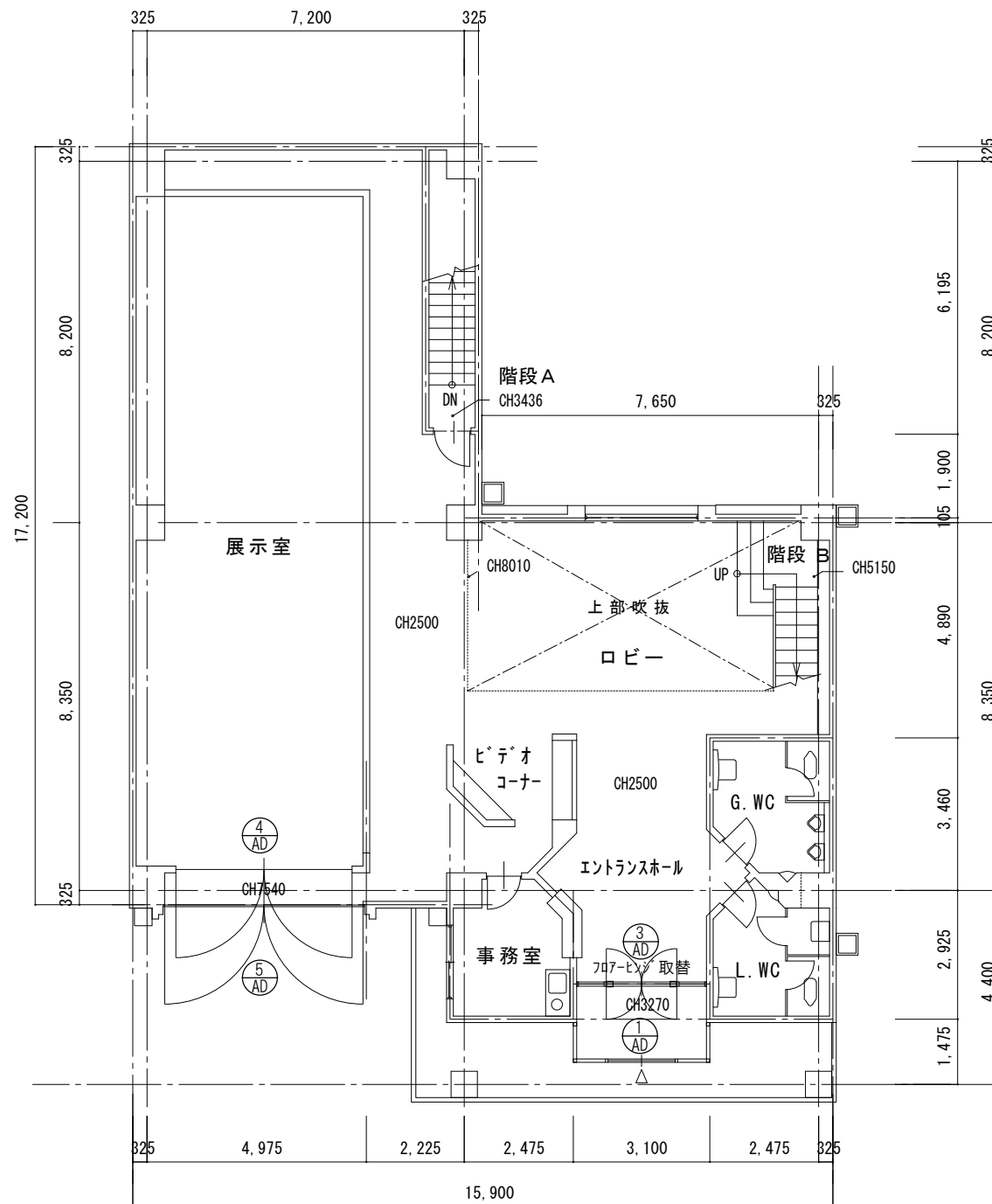
写真 番号	立面 方向	クラック 幅 (mm)	クラック長さ(m)			塗装面積(m2)			欠損部面積(m2)			モルタル浮き(m2)			カッター (m)	備考
			0.2未満	0.2以上 1.0以下	1.0超	W	H	合計	W	H	合計	W	H	合計		
(クラック)																
1a	南面	0.20		※ 6.30		3.10	0.47	1.46								(0.3m×10)×2本+0.3m W=3m+0.1m, H=0.27m+0.2m
1b		0.20		※ 6.65		5.45	0.60	3.27								0.6m×2本+5.45m
2		0.20		4.20												2.1m×2本
3		0.20		2.40												0.3m×8枚
4	東面	0.40		0.33												
5		0.20		0.80												0.4m×2本
6		0.20		2.60												
7		0.20		1.90												
8		0.20		3.90												1.3m×3本
9		0.20		11.10												
10		0.20		3.80												
11		0.20		※ 2.40		0.80	2.47	1.98								0.4m程×6本
12		0.20		2.47		0.40	2.47	0.99								
13	北面	0.20		7.80												
14		0.20		1.79												
15		0.20		0.70												
16		0.20		7.68												
17		0.20		9.24												
18	東面	0.20		16.64												(4.45m+3.87m)×2本
19		0.20		2.80												
20	西面	0.20		20.00												
21		0.30		0.50												
22		0.20		1.99												
23		0.50		4.58												

(※塗装箇所を重複を示す)

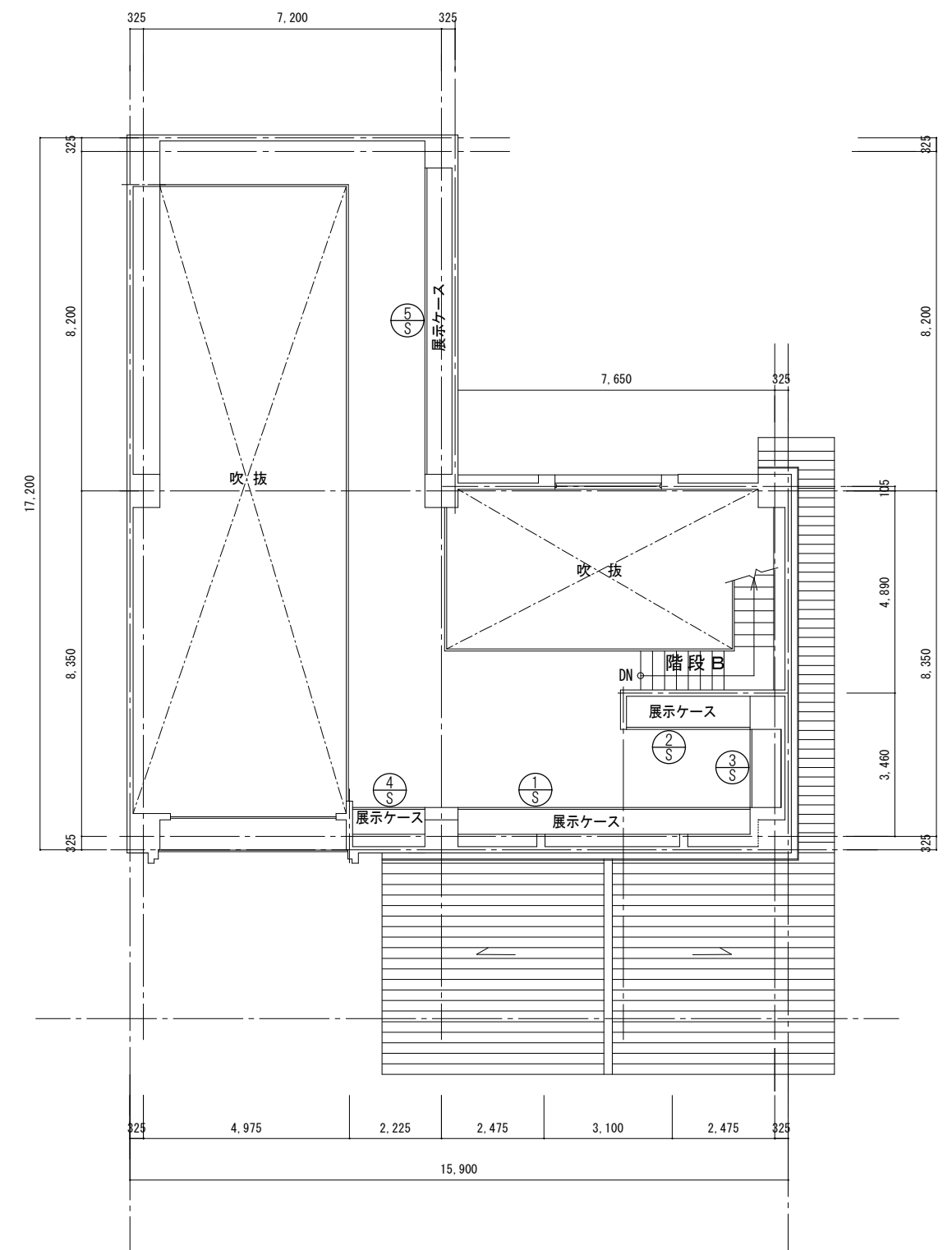
写真 番号	立面 方向	クラック 幅 (mm)	クラック長さ(m)			塗装面積(m2)			欠損部面積(m2)			モルタル浮き(m2)			カッター (m)	備考
			0.2未満	0.2以上 1.0以下	1.0超	W	H	合計	W	H	合計	W	H	合計		
24		0.35		0.90												
25		0.35		3.70												
合計				127.17				7.70								
				※ 除く111.82			0.20	111.82	22.36							
(損傷)																
1	西面						3.15	0.15	0.47	3.15	0.15	0.47			3.15	2.6+0.55=3.15m
2							1.04	0.15	0.16	1.04	0.15	0.16			1.04	0.26×4段=1.04m
合計									0.63			0.63			4.19	
(ハクリ)																
1	南面						7.17	0.20	1.43							塗装剥がれ
2							0.02	0.80	0.02							塗装剥がれ
3							0.02	0.16	0.03							塗装剥がれ×2ヶ所
4		0.2		※ 0.75			0.61×2	3.16	3.86							柱2面
4	柱裏面	0.6		※ 0.45			0.61	3.16	1.93							
5	東面						0.02	0.80	0.02							塗装剥がれ
合計				※ 1.20					7.29							
(欠損)																
1	東面									0.60	1.40	0.84				
2										0.30	0.17	0.05				
3	北面									1.50	0.20	0.30				
4										0.20	1.70	0.34				
5										0.13	0.20	0.03				
6	西面									20.0	0.27	5.40				
7										0.25	0.23	0.06				
合計												7.02				



地階キープラン



1階キープラン



2階キープラン



Ohata Architects and Associates

有限会社 オオハタ建築研究所

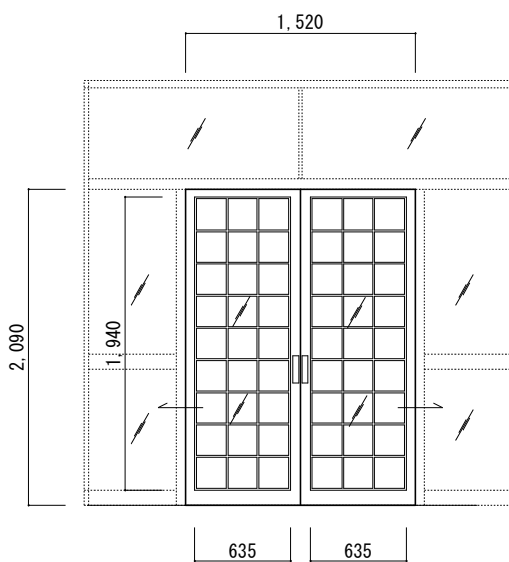
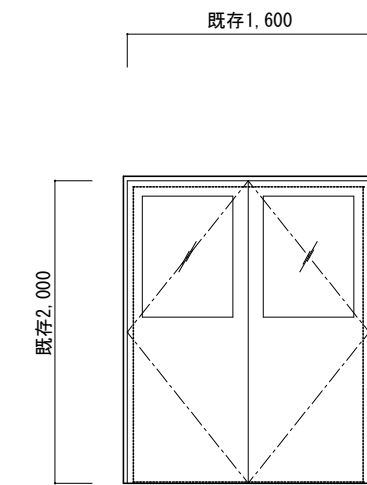
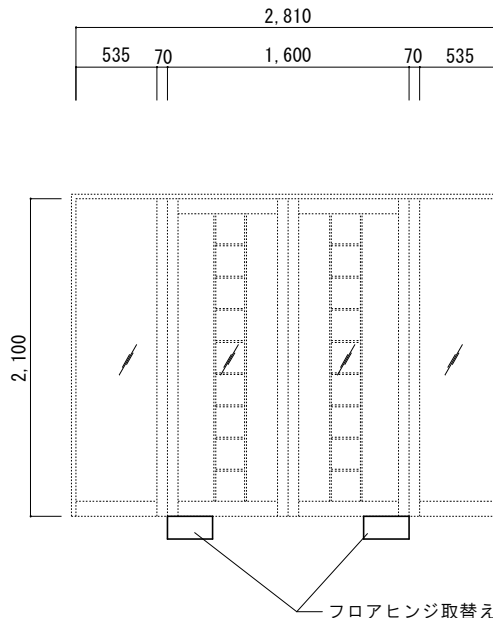
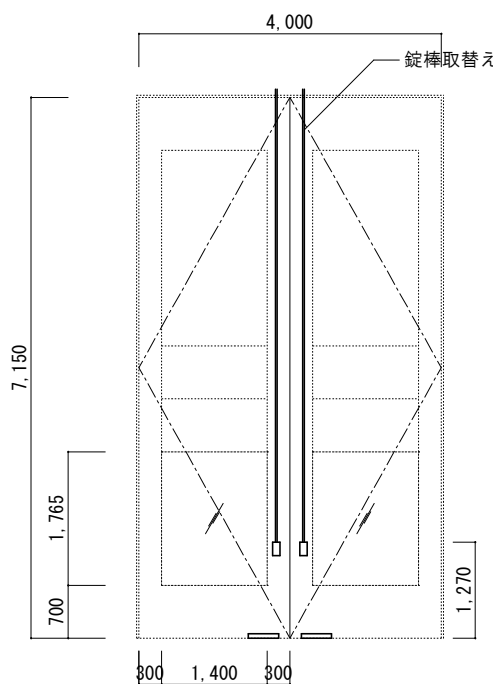
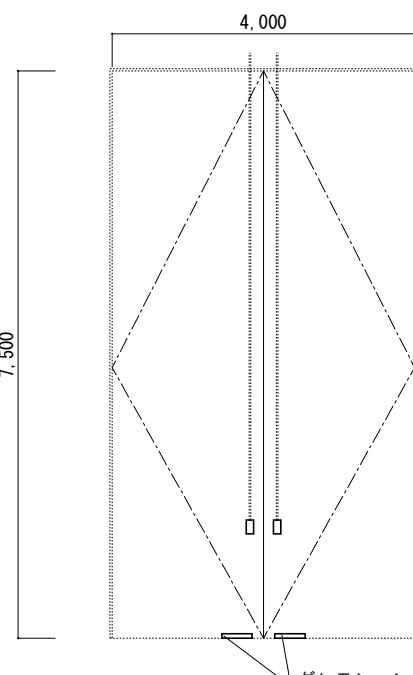
石川県知事登録 第13055号
一級建築士 第170771号 大畑清隆

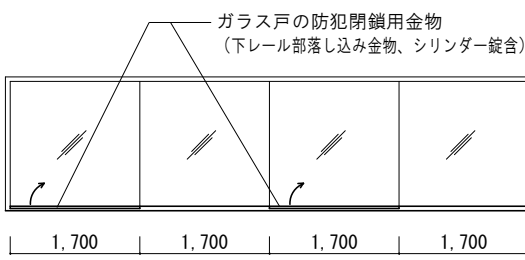
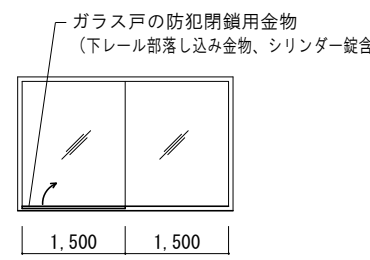
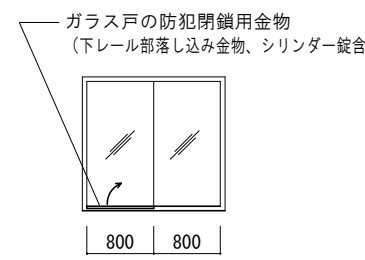
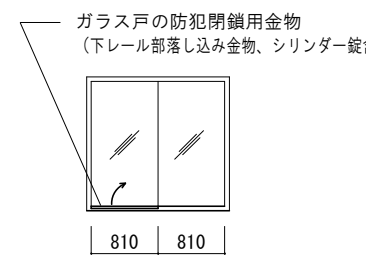
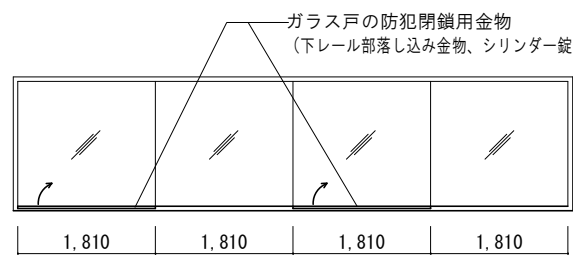
年月日
R7. 9


工事名
黒島天領北前船資料館災害復旧工事

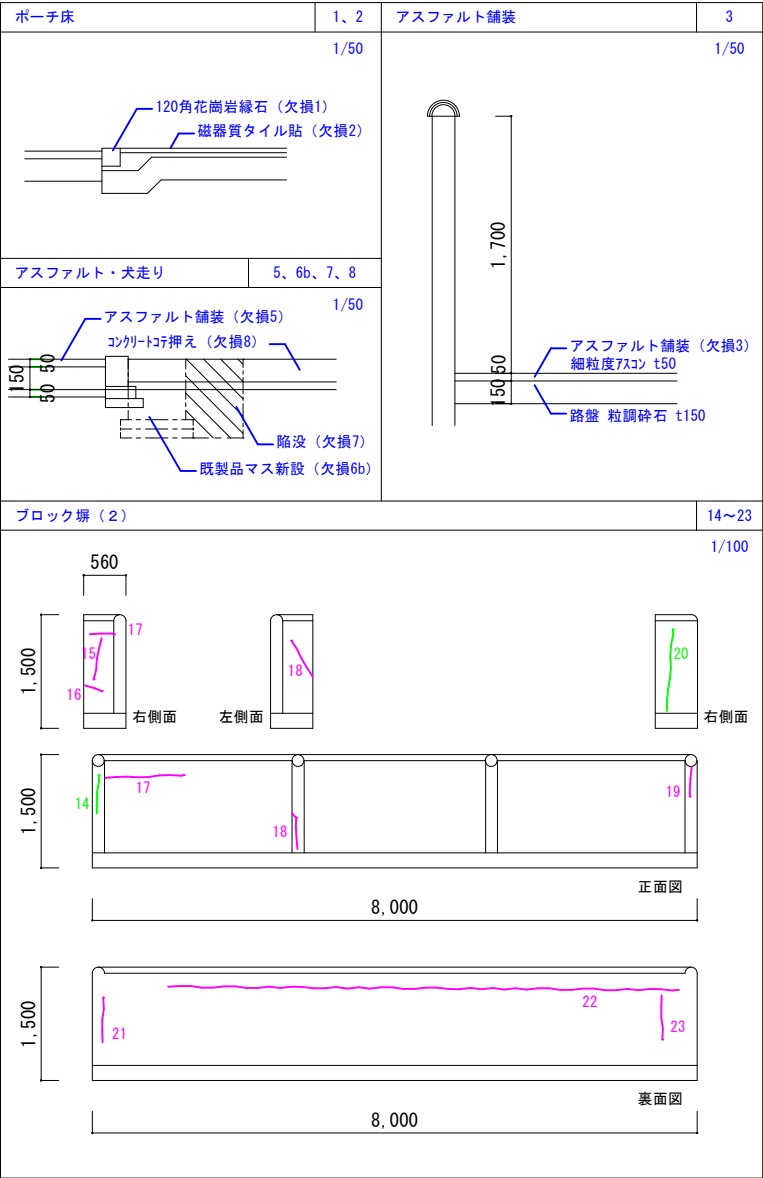
図面名
損傷復旧図8 (建具キープラン)





縮尺 [A-3]
1/150
図面番号
A- 16

符号・名称		数量		<div><div>1</div><div>AD</div></div> 引分け戸	1ヶ所	<div><div>2</div><div>AD</div></div> 両開きフラッシュ戸	1ヶ所	<div><div>3</div><div>AD</div></div> 袖Fix付両開き框戸	1ヶ所	<div><div>4</div><div>AD</div></div> 両開きフラッシュ戸	1ヶ所	<div><div>5</div><div>AD</div></div> 両開きフラッシュ戸	1ヶ所												
使用場所		風除室1/50				地階前室1/50				エントランスホール1/50				1階展示室1/100				1階展示室1/100							
改修内容		引戸建入不良により取替え（戸のみ） 引分戸のみ撤去・新設、アルミ、電解着色 アルミ格子取付、金物一式、引戸取手				不具合により取替え 枠：カバー工法 既存アルミ枠に取付 AL t2.0 扉：新設、ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー本締錠 戸当り、フランス落シ、沓摺ステンレス				フロアヒンジ損傷により取替え 2台				ケースハンドル棒差し不良により取替え				フロアグレモンハンドル不良により取替え							
姿図内法寸法																									
見込寸法	材料・塗装	12mm	アルミ、電解着色			70mm	アルミ、電解着色			70mm	アルミ、電解着色			240mm	アルミ（RL3.0）、電解着色			200mm	アルミ（RL3.0）、電解着色						
ガラス	フロートt6					網入りt6.8					フロートt6					フロートt6									
金物	アルミ格子取付金物一式					丁番、ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー本締錠 戸当り、フランス落シ、沓摺ステンレス					フロアヒンジ、ドアハンドル、戸当たり、 3方アングルピース、シリンダー本締錠					【既存】丁番、グレモン錠、戸当り ケースハンドル、沓摺ステンレス					【既存】丁番、グレモン錠、戸当り、ケースハンドル 3方アングルピース、下枠ステンレス エアタイト仕様				
備考																									

符号・名称		数量		<div><div>1</div><div>S</div></div> ショーケースガラス戸	1ヶ所	<div><div>2</div><div>S</div></div> ショーケースガラス戸	1ヶ所	<div><div>3</div><div>S</div></div> ショーケースガラス戸	1ヶ所	<div><div>4</div><div>S</div></div> ショーケースガラス戸	1ヶ所	<div><div>5</div><div>S</div></div> ショーケースガラス戸	1ヶ所								
使用場所		2階展示室1/100				2階展示室1/100				2階展示室1/100				2階展示室1/100							
改修内容		ガラス戸の防犯閉鎖用金物の不良により調整 シリンダー錠含む																			
姿図内法寸法																					
見込寸法	材料・塗装	26mm	スチール 特殊MP吹付			26mm	スチール 特殊MP吹付			26mm	スチール 特殊MP吹付			26mm	スチール 特殊MP吹付						
ガラス																					
金物	シリンダー錠 ガラス戸附属金物一式					シリンダー錠 ガラス戸附属金物一式					シリンダー錠 ガラス戸附属金物一式					シリンダー錠 ガラス戸附属金物一式					
備考																					

Ohata Architects and Associates		石川県知事登録 第13055号 一級建築士 第170771号 大畑清隆		年月日	工事名				図面名		縮尺	[A-3]	図面番号
 有限会社 オオハタ建築研究所				R7. 9	黒島天領北前船資料館災害復旧工事				損傷復旧図 9（建具）		1/50 1/100		A- 17



凡 例		
クラック幅	補修方法	
	0.2mm未満	塗装塗替えパテ処理
	0.2mm以上1mm以下	樹脂注入工法
	1mm超え	Uカットシーリング材充填工法
		仕上げ材改修
損傷番号…写真番号に該当		

アスファルト舗装 A-5-15

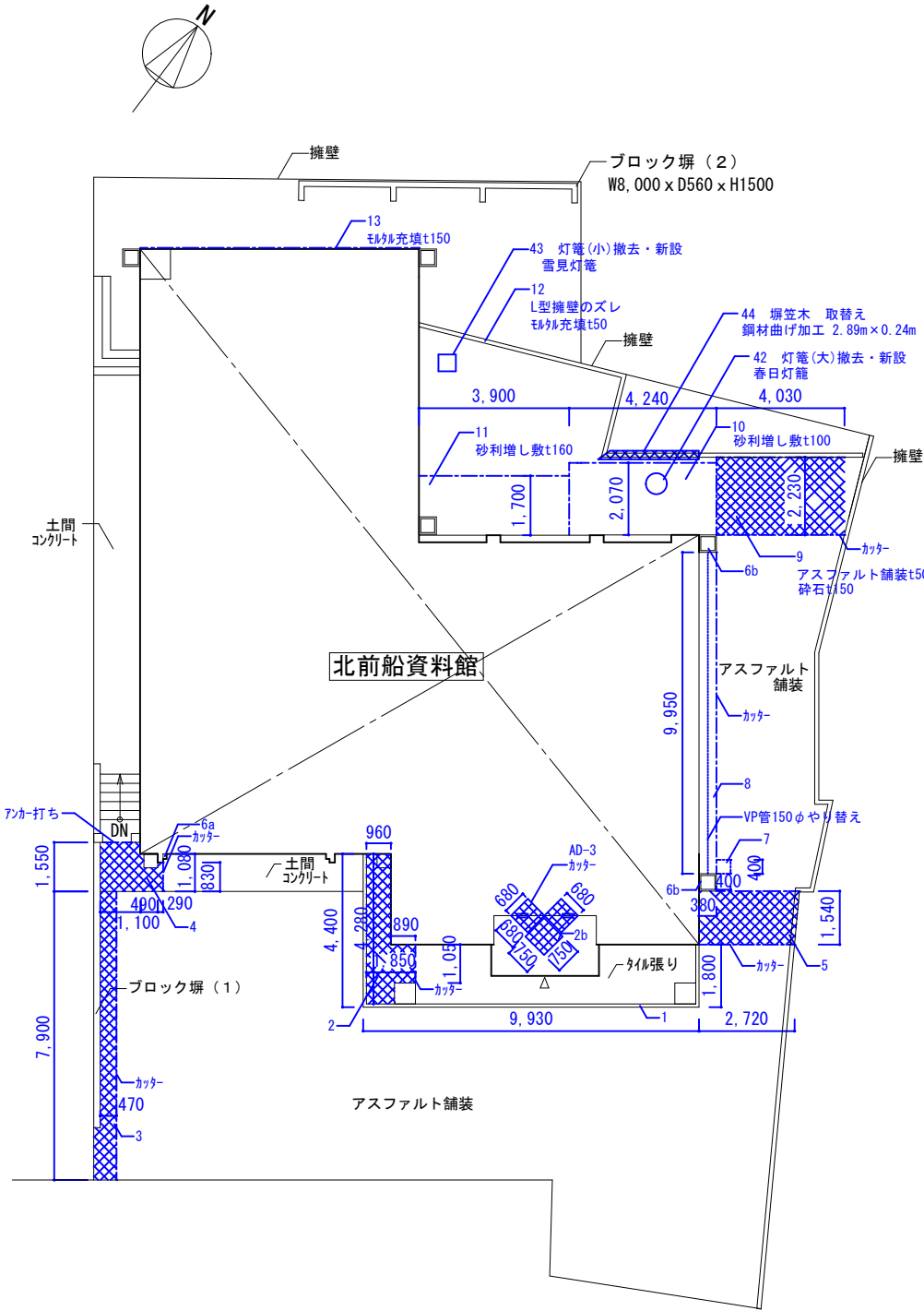


写真 番号	立面 方向	欠損部面積(m2)			仕上げ長さ(m)		VP管 (m)	カッター (m)	備考
		W	H	合計	(m)	合計			
(欠損)									
1	南面				1.80+9.93+4.40	16.13			縁石長さ
2a		0.96	4.28	4.11					タイル補修合計面積
		0.89	1.05	0.93				1.05	5.60m2
2b		0.75	0.75	0.56				3.00	
3		0.47	7.90	3.71				7.90	アスファルト補修面積
									3.71×0.05=0.19m3
									砕石補足合計体積
									3.71×0.03=0.11m3
4		0.29	0.83	0.24					コンクリート合計体積 (コシ押し)
		0.60	1.08	0.65					2.60×0.15=0.39m3
		1.10	1.55	1.71					砕石合計体積
				2.60					2.60×0.05=0.13m3
								0.83	アンカー3か所
5		2.72	1.54	4.19					アスファルト補修面積
									4.19×0.15=0.63m3
									砕石補足合計体積
									4.19×0.05=0.21m3
								5.44	2.72x2本
6a		0.12	0.40	0.05					モルタル補修体積
									0.05×0.09=0.01m3
6b	東面	380×380×H400×2か所							既製品マス取替2か所
7		0.40	0.4	0.16					アスファルト補修面積
									0.16×0.05=0.01m3
									砕石補足合計体積
									0.16×0.03=0.01m3
8		0.38	9.95	3.78			9.95	9.95	アスファルト補修面積
									3.78×0.05=0.19m3
									砕石補足合計体積
									3.78×0.03=0.11m3
9	北面	4.03	2.23	8.99				4.03	アスファルト補修面積
									8.99×0.05=0.45m3
									砕石補足合計体積
									8.99×0.03=0.27m3
10		4.24	2.07	8.78					砂利敷8.78×0.1=0.88m3
11		3.90	1.70	6.63					砂利敷6.63×0.16=1.06m3
12		0.50	2.77	1.39					モルタル充填1.39×0.05=0.07m3
13		8.10	0.05	0.41					モルタル充填0.41×0.15=0.06m3
AD-3	南面	0.68	0.68	0.46				5.44	タイル補修合計面積 0.92m2
		0.68	0.68	0.46					タイル補修合計面積
42	北面								灯籠 (大)
43									灯籠 (小)
44		2.89	0.24	0.69					塀笠木

写真 番号	立面 方向	クラック 幅 (mm)	クラック長さ(m)		備考
			0.2以上 1.0以下	1.0超	
(欠損)					
14	正面	1.20		8.50	
15	側面	0.30	0.78		
16		0.30	0.25		
17		0.20	1.75		0.4+1.35
18	正面	0.50	1.20		
19		0.30	0.32		
20	側面	1.10		1.20	
21	裏面	0.70	0.50		
22		0.50	6.04		
23		0.20	0.53		
小計1			11.37	9.70	

仕上げ面積表	小計
120°角縁石	16.13m
カッター入れ	37.64m
VP管新設	9.95m
マス新設	2か所
アンカー打ち D13	3か所
タイル補修面積	6.52m2
アスファルト補修面積	20.83m2
コンクリート体積 (コシ押し)	0.39m3
砕石体積	0.84m3
モルタル補修体積	0.01m3
砂利増し敷	1.94m3
モルタル充填	0.69m3

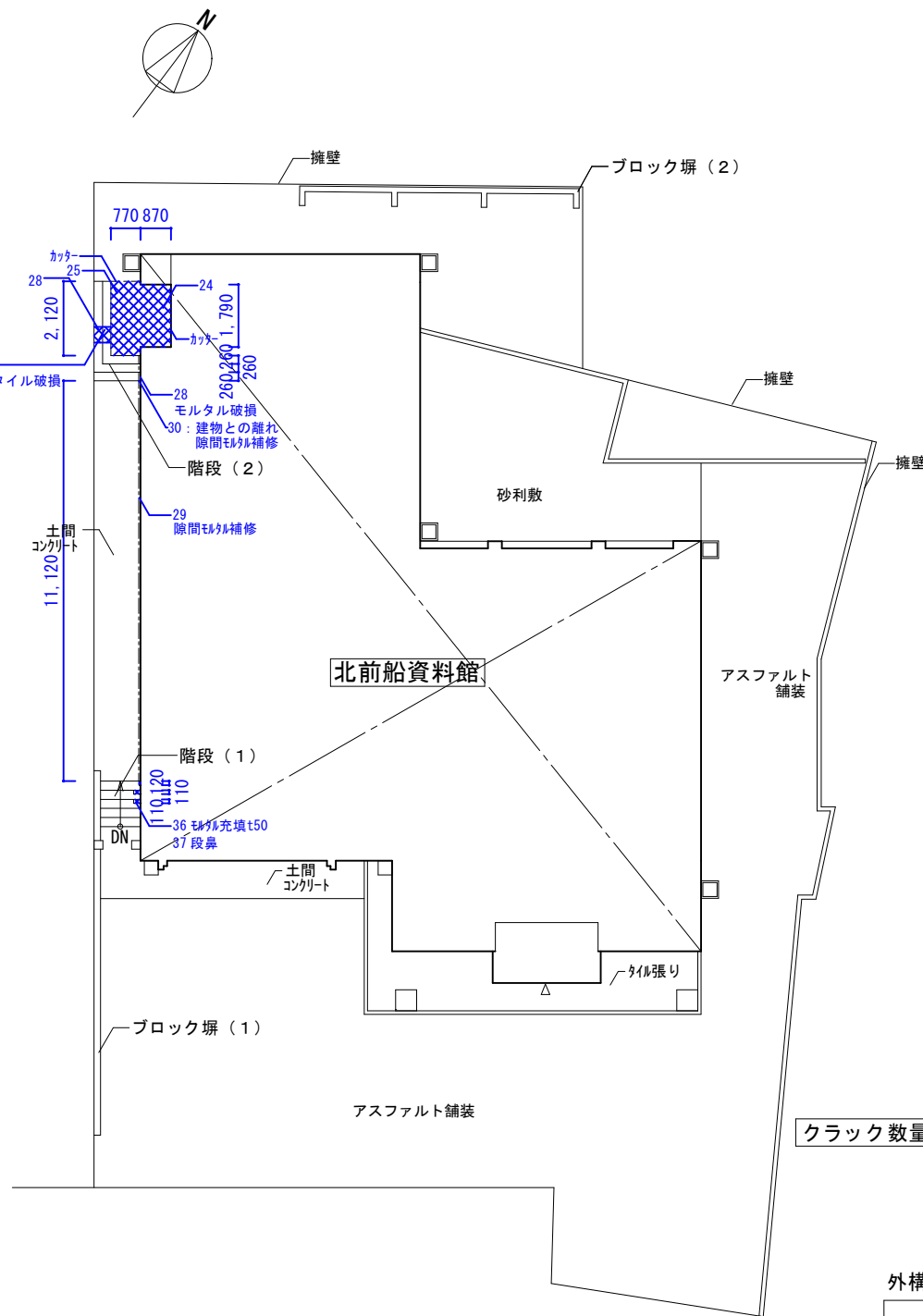
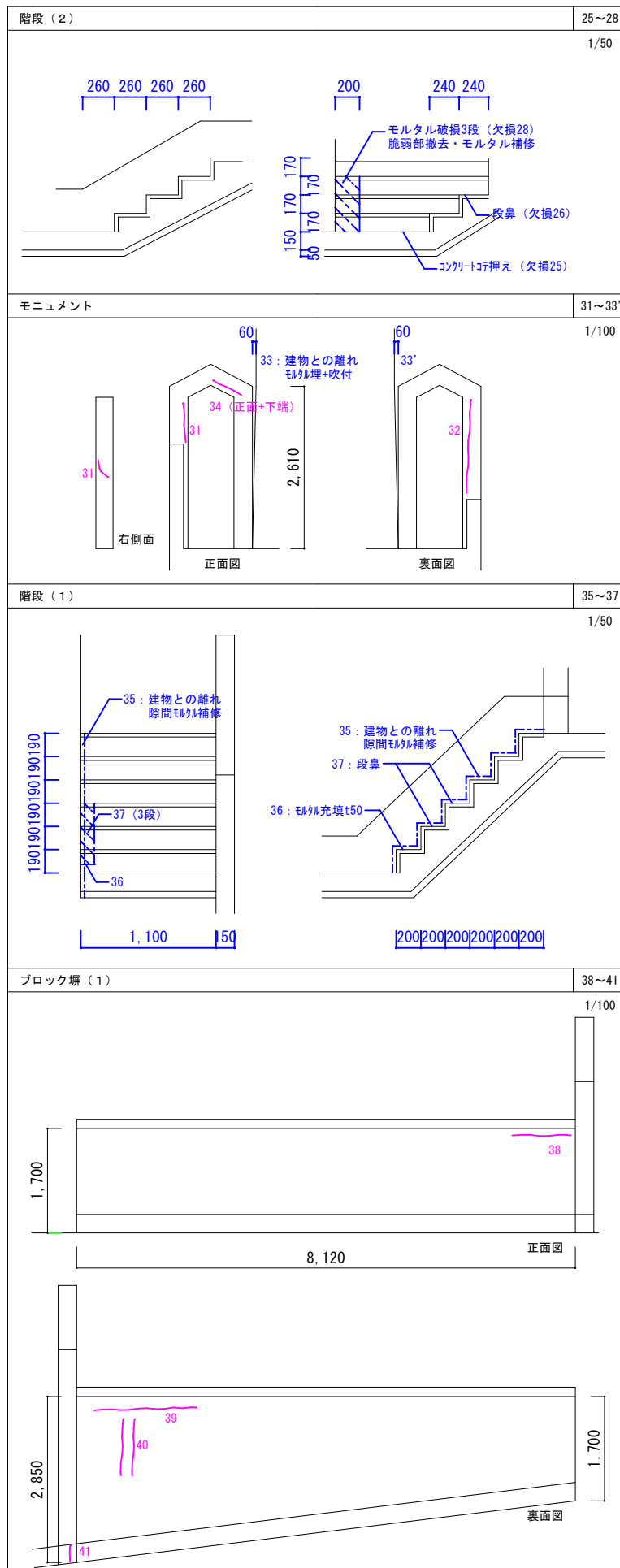


写真 番号	立面 方向	欠損部面積(㎡)			モルタル 隙間補修	段鼻	カット	備考
		W	H	合計	(㎡)	(枚)	(㎡)	
(欠損)								
24	西面	0.87	1.79	1.56			1.79	コンクリート合計体積 (ｺﾞ押え) 1.56 × 0.15 = 0.23m³
								砕石合計体積 1.55 × 0.05 = 0.07m³
25		0.77	2.12	1.63			0.77	コンクリート合計体積 (ｺﾞ押え) 1.63 × 0.15 = 0.24m³
								砕石合計体積 1.63 × 0.05 = 0.08m³
26						6		
27								
28		0.20	0.39	0.08				蹴上+踏ずら = 0.39
		0.45	0.39	0.18				0.08 × 3段 × 0.05 = 0.01m³
								0.18 × 2段 × 0.05 = 0.02m³
29					11.12			隙間モルタル充填
30					1.80			隙間モルタル充填 (0.26+0.19) × 4段
35					2.70			隙間モルタル充填 (0.26+0.19) × 6段
36		0.20	0.66	0.13				モルタル充填 0.13 × 0.05 = 0.01m³
37						3		

写真 番号	立面 方向	クラック 幅 (mm)	クラック長さ(m)		塗装面積(m2) モルタル面積(m2)			備考
			0.2以上 1.0以下	1.0超	W	H	合計	
(欠損)								
31	正面	0.60	1.16					0.7+0.28+0.18
32	裏面	0.85	2.12					
33	正面				0.07	2.61	0.18	モルタル充填0.18×0.05=0.01m3
33'	裏面				0.07	2.61	0.18	モルタル充填0.18×0.05=0.01m3
34		0.20	1.20					0.4×3本
38	正面	0.45	0.94					
39	裏面	0.45	1.12					
40		0.25	1.82					0.91×2本
41		0.35	0.30					
小計2			8.76					
小計1			11.37	9.70				
計	合計		20.13	9.70				

外構図(1) 数量根拠

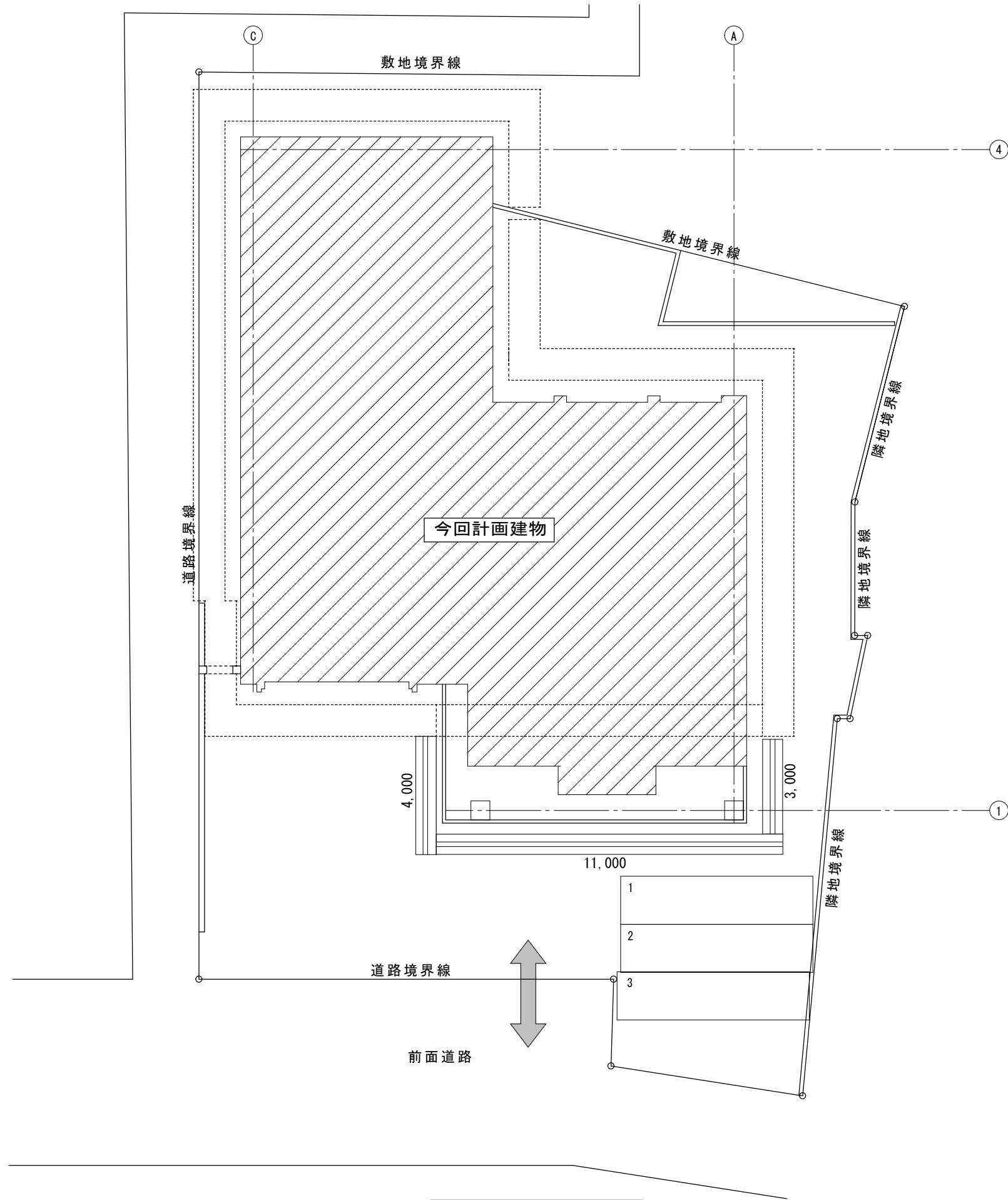
仕上面積表	小計(1)
120角縁石	16. 13m
ｶｯﾀｰ入れ	37. 64m
VP管新設	9. 95m
マス新設	2か所
ｱｶｰ打ち D13接着系横	3か所
ﾀｲﾙ補修面積	6. 52m ²
ｱｽﾌｧﾙﾄ補修面積	20. 83m ²
ｺﾝｸﾘｰﾄ体積 (ｺﾞﾗﾝﾍﾞ)	0. 39m ³
砕石体積	0. 84m ³
ﾓﾙﾀﾙ補修体積	0. 01m ³
砂利増し数	1. 94m ³
ﾓﾙﾀﾙ充填	0. 15m ³

外構図(2) 数量根拠

仕上げ面積表	小計(2)
カッター入れ	3. 60m
コンクリート体積（コテ押し）	0. 47m ³
砕石体積	0. 15m ³
モルタル補修体積	0. 05m ³
モルタル充填	0. 06m ³
隙間モルタル充填	15. 62m
段鼻	9枚
吹付塗装	0. 36m ²

外構 総数量根拠表

仕上面積表	小計(2)
120角縁石	16.13m
カッター入れ	41.24m
VP管新設	9.95m
マス新設	2か所
7カー打ち D13接着系横	3か所
タイル補修面積	6.52m ²
アスファルト補修面積	20.83m ²
コンクリート体積(コ押え)	0.86m ³
碎石体積	0.99m ³
モルタル補修体積	0.06m ³
砂利増し敷	1.94m ³
モルタル充填	0.21m ³
隙間モルタル充填	15.62m
段鼻	9枚
吹付塗装	0.36m ²



参考仮設計画図 S=1/150

凡 例	
	A型バリケード 4.0m+11.0m+3.0m =18.0m
	敷き鉄板 6.0m×1.5m=3枚
	外部足場範囲 枠組本足場 手すり先行式
	工事搬入出入口



Ohata Architects and Associates

有限会社 オオハタ建築研究所

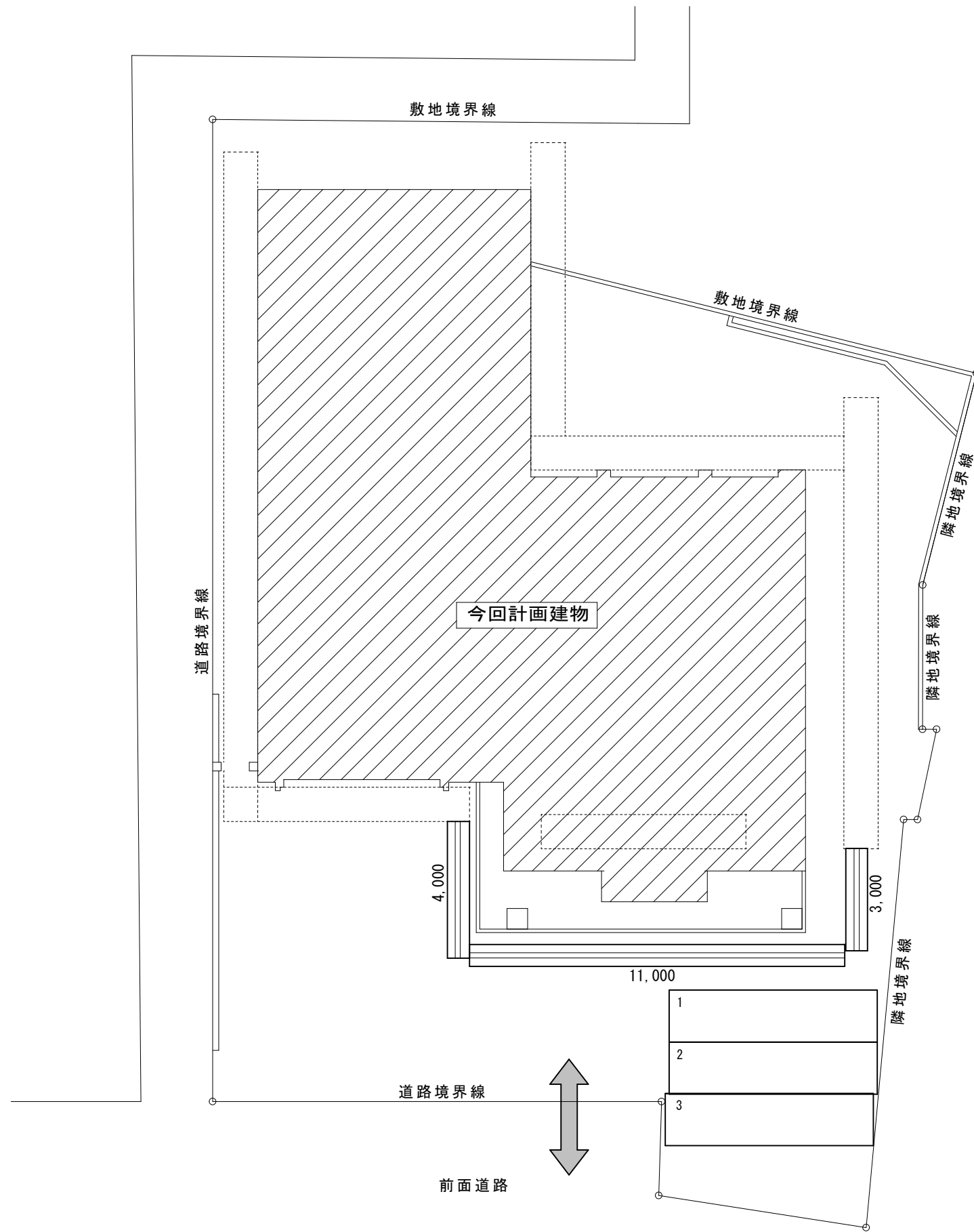
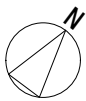
石川県知事登録 第13055号
一級建築士 第170771号 大畑清隆

年月日
R7. 9

工事名
黒島天領北前船資料館災害復旧工事

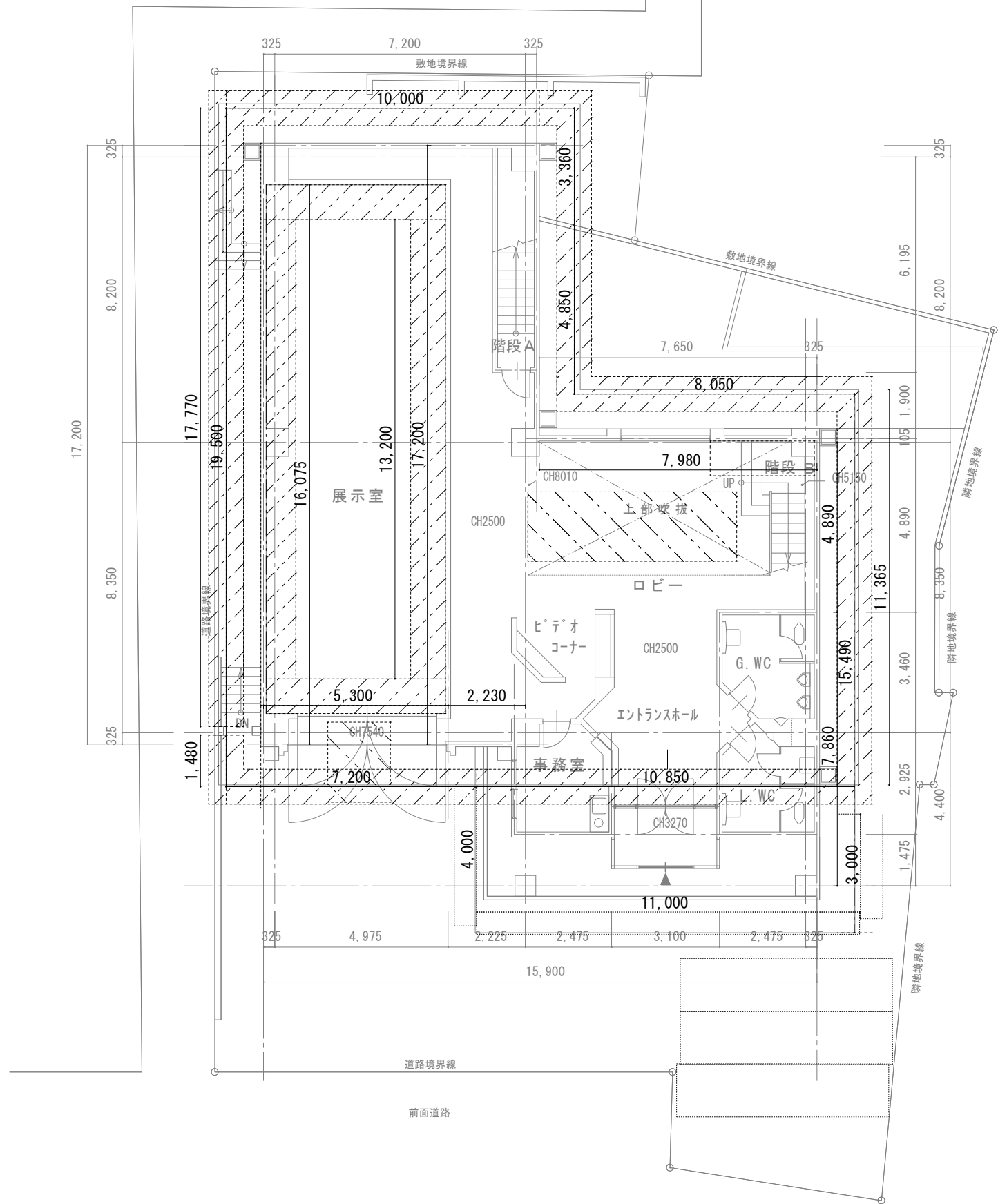
図面名
参考 仮設計画図

縮尺 [A-3]
1/150
図面番号
参考-1



凡 例	
	A型バリケード 4.0m+11.0m+3.0m =18.0m
	敷き鉄板 6.0m×1.5m=3枚
	外部足場 くさび緊結式足場 抜け止め機能付き型
	工事搬入出入口





参考足場計画範囲図 S=1/150

工 事 仕 様 書 (電気設備)

I. 工事概要

1. 工 事 名 称 黒島天領北前船資料館災害復旧工事
2. 工 事 場 所 輪島市門前町黒島町口の114番地1
3. 完 成 期 日 令和 8 年 月 日（余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。）
指定部分 ・ 無 ・ 有（指定期日：令和 年 月 日） 対象部分（ ）
概成工期 ・ 無 ・ 有（令和 年 月 日）(1.2.1(6))
4. 建 物 概 要

建築物名稱	構造	階數	延面積 (m ²)	消防令別表第一	備考
資料館	RC造	2階建(地階 1階.塔屋 階)	390.0	8項	

本工事は別紙設計図に従い、既設設備の改修及び撤去を行う。

5. 別契約の関連工事
- | | | | | |
|----------|-----------|------------|-----------|-----------|
| ○建築工事 | ・電気設備工事 | ○給排水衛生設備工事 | ・空調調和設備工事 | ・構内交換設備工事 |
| ・昇降機設備工事 | ・自家発電設備工事 | ・厨房機器設備工事 | ・屋外付帯工事 | ・植栽工事 |

6. 工 事 内 容
- 災害復旧に伴う 館内 電気設備の修繕を行う。

II. 工事仕様

1. 一般仕様
- 1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
- 2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。
2. 特記仕様
- 章は●印のものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。
- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項
● 一 般 共 通 事 項	1 工事実績情報	請負金額5, 000千円以上の工事は工事実績情報登録を行う。(1.1.4)
	2 施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。(1.1.5(3))
	3 他工事との取り合い	スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表一によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合せる。(1.1.7)
	4 工事の記録等	工事総合進捗表、工事日誌、工事出面報告書、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末ごとに提出する。(1.2.4)
	5 施工条件	・ 新築工事 ○ 改修工事 (・ 執務並行改修 ・ 全館無人改修) (1.3.3) ・ 解体工事 (改1.3.3) ・ ・
	6 発生材の処理等	・ 引渡しを要するもの (・) (1.3.9(2)) ・ 特別管理産業廃棄物 (・ PCB使用機器 ・ 廃石綿 ・) ・ 現場で再利用を図るもの (・) ○ 再資源化を図るもの (○ 蛍光灯 ・ コンクリート ・ アスファルト ・ 木材 ・)
	7 再使用機材	・ 取外し後再使用するものは図示による。(改1.4.3)

●

一

共

事

項

8 事前調査

9 養生

10 撤去等

11 環境への配慮

12 機材の品質等

13 工事の創意工夫等

14 化学物質の濃度測定

15 中間検査

16 完成図

17 保全に関する資料

18 足場類

19 仮設間仕切・扉

20 仮設備

21 工事用電力等

22 監督員事務所等

P C B含有分析調査を
石綿含有分析調査を

・ 行う（図示 箇所）
・ 行う（図示 箇所）

○ 行わない
○ 行わない

1) 既存部分の養生範囲は、図示による。
2) 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。

1) 回収を要する機器及び配管の内容物
2) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。

1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。
・ 照明制御システム
・ 変圧器
・ 下塗用塗料（重防食）
2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。

① JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品
② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③ 下記表示のあるJAS規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。
ただし、仮設に使用する機材は、新品に限らない。
2) 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新年版）」（（一社）公共建築協会）等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。

機 材 名 称	
L E D照明器具（一般屋内用に限る）	絶縁監視装置
照明制御装置	蓄電池
サージ防護デバイス（SPD）	交流無停電電源装置
可変速運転用インバータ装置	太陽光発電装置
盤類	監視カメラ装置
高圧機器	中央監視制御装置

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

建築物の室内空気中の濃度測定を
測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。

中間検査の実施 ○ 無
・ 有（時期 ・ 天井地下完了時 ・ ）

原因及び製本（等倍 1 部、A3縮小 2 部）提出する。

保全に関する資料は次のとおり、 2 部提出する。
①建築物等の利用に関する説明書※
②機器取扱説明書（主要機器一覧表とも）
③機器性能試験成績書（総合試運転報告書とも）
④官公署届出書類
※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き
手引きのダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/ki_jun_kentikubuturiyou_tebiki.htm

内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。

設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。

仮設備を
・ 設ける（図示による） ○ 設けない

○ 既存施設に電力量計等を設けて使用できる（有償）
・ 発電機又は北陸電力引込み等

1) 監督員事務所を ※ 設けない
・ 設ける〔 ・ 1号（10㎡程度） ・ 2号（20㎡程度）〕
2) 監督員事務所に設ける備品等
・ 保護帽 ・ 墜落制止用器具 ・ 長靴 ・ 合羽 ・ 机 ・ 椅子
・ 懐中電灯 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 寒暖計
3) 設計図を工事監理用に製本（等倍 1 部、A3縮小 2 部）し、監督員事務所等に置く。

(改1.5.2)

(改1.7.1)

(改1.7.2)

(改1.8.1)

(改1.8.6)

(1.4.1(1))

(1.4.1(2))

(1.4.2(1))

(1.5.6)

(1.5.7)

(1.6.2)

(1.7.2)

(1.7.3)

(改2.2.2)

(改2.2.3)

(改2.14.1)

(改2.2.4)

(2.1.1(1))

●

一

般

共

通

事

項

23 快適トイレ
(快適トイレ実施
要領に基づく)

24 工事現場の
表示板

25 埋め戻し土

26 建設発生土
の処理

27 塗装

28 はつり

29 あと施工
アンカー

30 県内産材料

31 材料検査

32 工事写真等
の記録

33 部分払いの対象
工事材料

34 火災保険等

・ 設置する

○ 設置しない(別途工事で設置等)

※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる

快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。

工事現場には、下記表示板を設置する。(記入例)

上段の地色は白色
文字は青色

下段の地色は青色
文字は白色

工 事 名

工 期 自 年 月 日 ～ 至 年 月 日

発注者 石川県土木部営繕課

設 計 (建築・設備委託業者名を記入)

監 理 (建築・設備委託業者名を記入)

施 工 建 築 (施工業者名を記入)

電 気 (施工業者名を記入)

機 械 (施工業者名を記入)

この工事は、週休2日に取り組んでいます

90cm

60cm
～75cm

設計及び監理の欄は、実施設計及び工事監理が委託発注された場合。

工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は角ゴシック体とする。

※ 根切り土の中の良質土(ただし、管の周囲は山砂)

山砂

・ 現場内で処理

・ 構内指示の場所に堆積

・ 構内指示の場所に敷き均し

○ 場外搬出適正処理 (「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。)

※ 指定(想定)搬出先 受入場所:

受入時間帯: 時 分～ 時 分

仮置き等:

次の金属露出配管(亜鉛めっき面を含む)は、塗装を行う。

屋外 屋内(・ 居室 ・ 機械室 ・)

1) 放射線透過検査を ・ 行う ※ 行わない(但し、鉄筋探査は行う。)

2) 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。

3) 溝はつり深さは、図示による。

4) 防水箇所の貫通処理方法は図示による。

1) 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。

2) 施工後確認試験(引張試験)を ・ 行う(箇所) ・ 行わない

石川県建設工事標準請負契約約款(以下「請負契約約款」という。)第6条の2第7項により、調達する工事材料は石川県産とするように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。

請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。

受変電機器 自家発電装置 照明器具類 配電盤類 避雷針

通信機器 構内交換機器 接地材料

1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領(令和3年改定)」による。

2) 請負契約約款第14条第3項に定める工事写真は次のとおり。

地中埋設配管部 機器の基礎及びアンカーボルト埋設部 塗装工程

接地極埋設部 天井、トレンチ内の隠ぺい箇所 躯体内隠ぺい部

3) 区分による規格、枚数、部数は次による。

区 分	大きさ(mm)	撮 影 枚 数	部数	備 考
着工前	100×148程度	監督員の指示による	1部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、
工事中	85×115程度	監督員の指示による	1部	工事完成時に提出する。
完成時	100×148程度	監督員の指示による	1部	A4用紙に整理したもの

4) 完成写真の撮影は、次による。 建築写真撮影業者 ※ 建築写真撮影業者以外

5) 写真はA4版用紙に順序よく貼付又は印刷し、説明事項を記入して提出する。

6) 中間検査又は監督員の指示により、手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添付し提出する。

請負契約約款第37条第1項に定める部分払の対象とする工事材料は次のとおり。

機器 盤 配管、配線

請負契約約款第49条に定める火災保険等は次のとおり。(加入期間は着工日より引渡日まで)

組立保険 建設工事保険

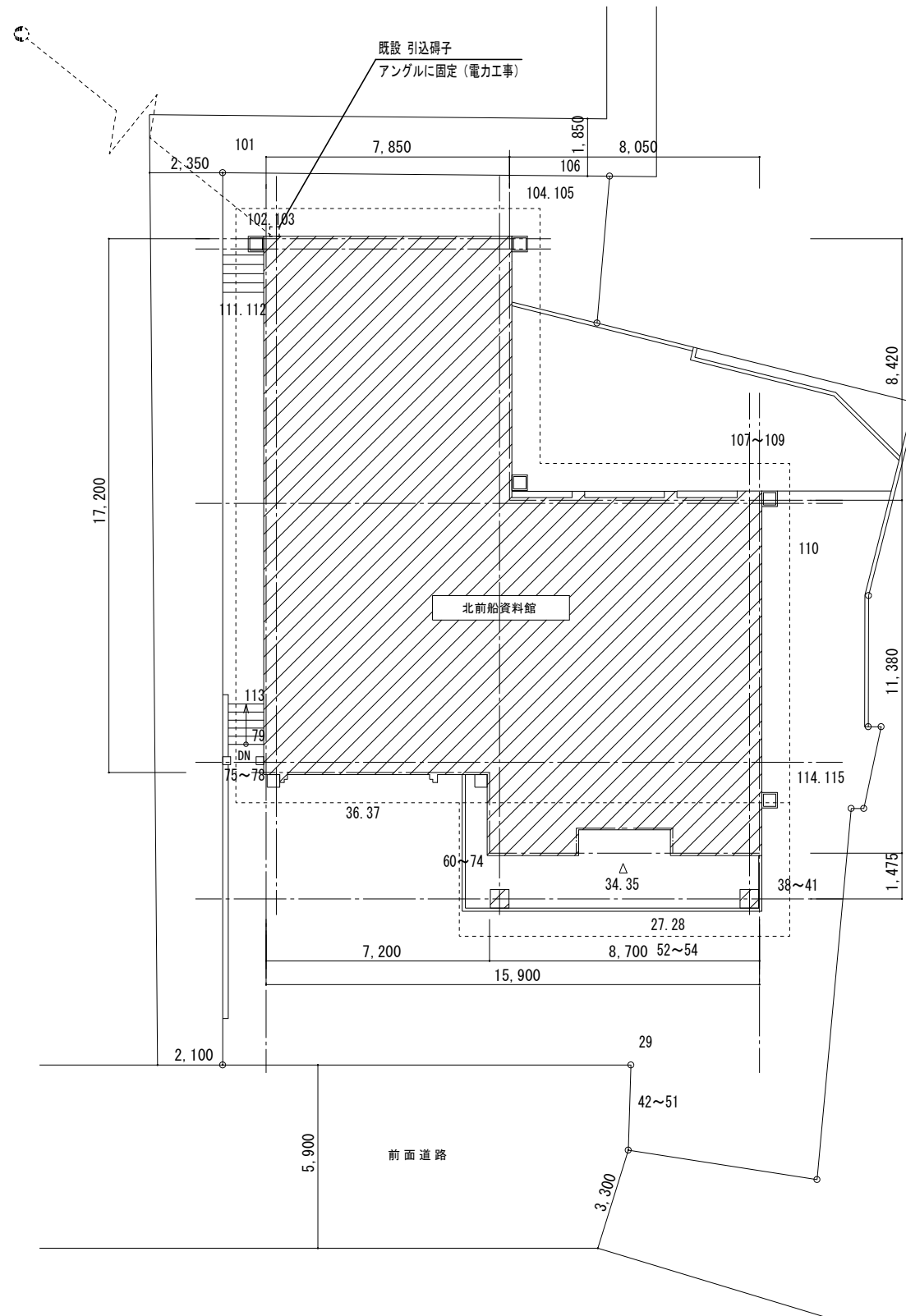
工事名 黒島天領北前船資料館災害復旧工事実施設計業務	番号 E-01
図面名 工事仕様書（電気設備） 1 / 3	縮尺 _____

輪島市 教育委員会

[illegible]

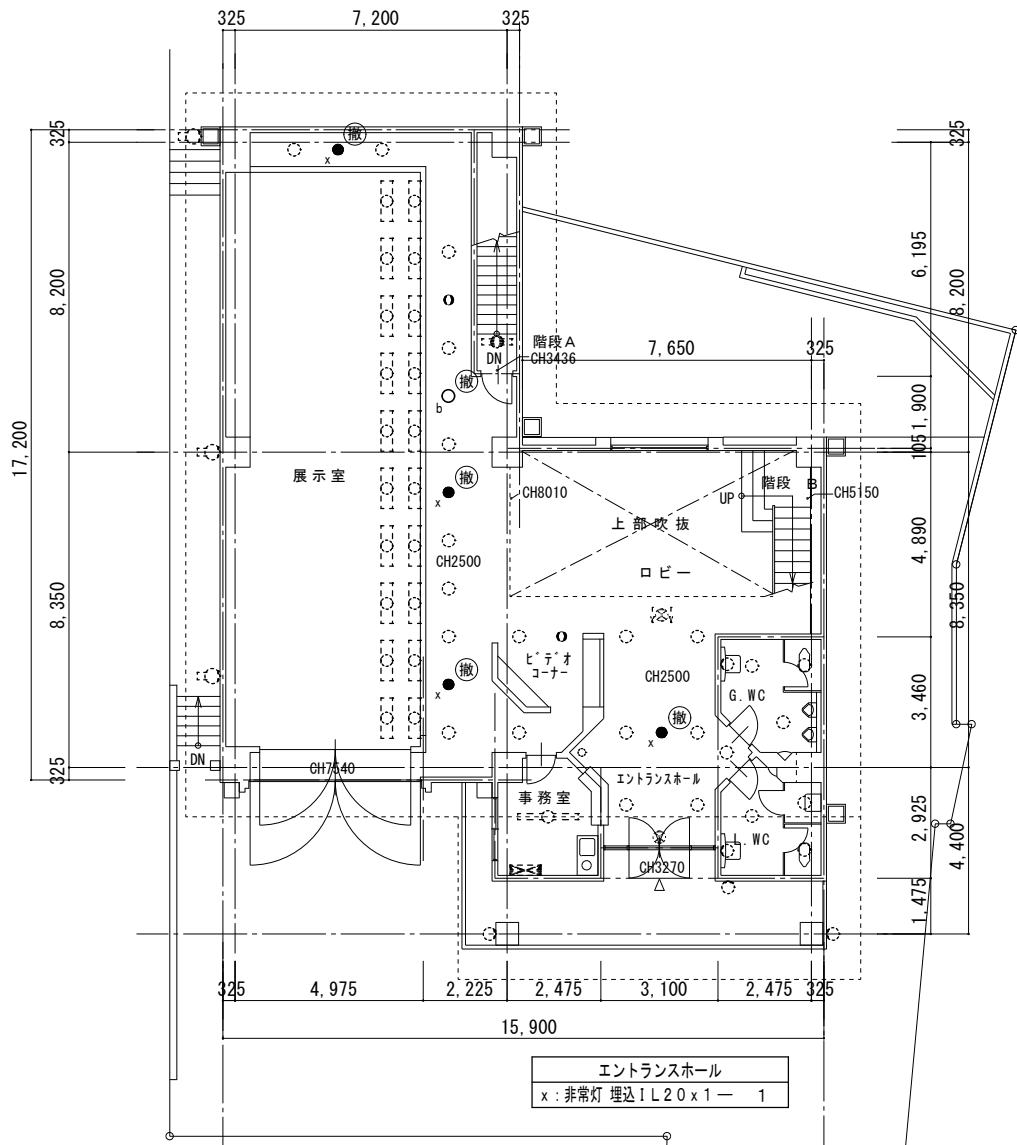
章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項
●その他	1 輪島市週休2日工事	工事現場において週休2日に取り組む「輪島市週休2日工事」（以下、「週休2日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。 なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、輪島市監理課ＨＰの「輪島市週休2日工事実施要領」を参照すること。 （１）当初設計において、週単位の週休2日にかかる補正係数を乗じている。 （２）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （３）受注者は、現場着手前に休日取得〔計画〕表を作成し、監督員に提出・共有すること。 （４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得〔計画〕表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （５）受注者は、工期最終日まで、に、休日取得〔実績〕表を記入し、監督員に提出すること。 （６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 （７）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、週単位の週休2日に満たない場合は月単位の週休2日（4週8休相当）の補正に減額するものとし、月単位の週休2日（4週8休相当）に満たない場合は、補正分を減額するものとする。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。			
	2 余裕期間制度 試行工事	1）適用 ・ 対象 ※ 対象外 2）余裕期間制度対象工事の内容 （１）本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。 （２）受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 （３）受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 （４）工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。 （５）受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 （６）受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 （７）受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。 （８）受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 （９）余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 （１０）その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。 （着工日の期限） 契約締結日から起算して〇ヶ月以内			
	3 イメージアップ 看板	・ 設置する ・ 設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、設置することができる（設置費は受注者負担とする） 【参考図】 <div><div><div>野立型（大） H1400×W1100</div><div><div>未来への夢「石川をつくる」 みんなでつくりよう石川</div></div></div><div><div>野立型（小） H1400×W550</div><div><div>未来への夢 「石川をつくる」 <div>みんなで つくりよう 石川</div></div></div><div><div>壁掛型 H750×W900</div><div><div>未来への夢「石川をつくる」 みんなでつくりよう石川</div></div></div><div>（注）看板のデザインは監督員に確認すること</div></div></div>			
	4 情報共有 システム	石川県建設工事情報共有システム実施要領（営繕工事編）に基づく。 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/kijun/kijun.html ・ 利用する（発注者指定型） ※ 現場着手前に発注者と協議し、利用することができる（施工者希望型）			

工事名	黒島天領北前船資料館災害復旧工事実施設計業務	番号	E－03
図面名	工事仕様書（電気設備）	3／3	縮尺 ――
設 計	輪島市 教育委員会		





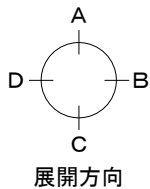
通 路		
b : 埋込	1 L 6 0 x 1	— 1
x : 非常灯	埋込	1 L 2 0 x 1 — 3



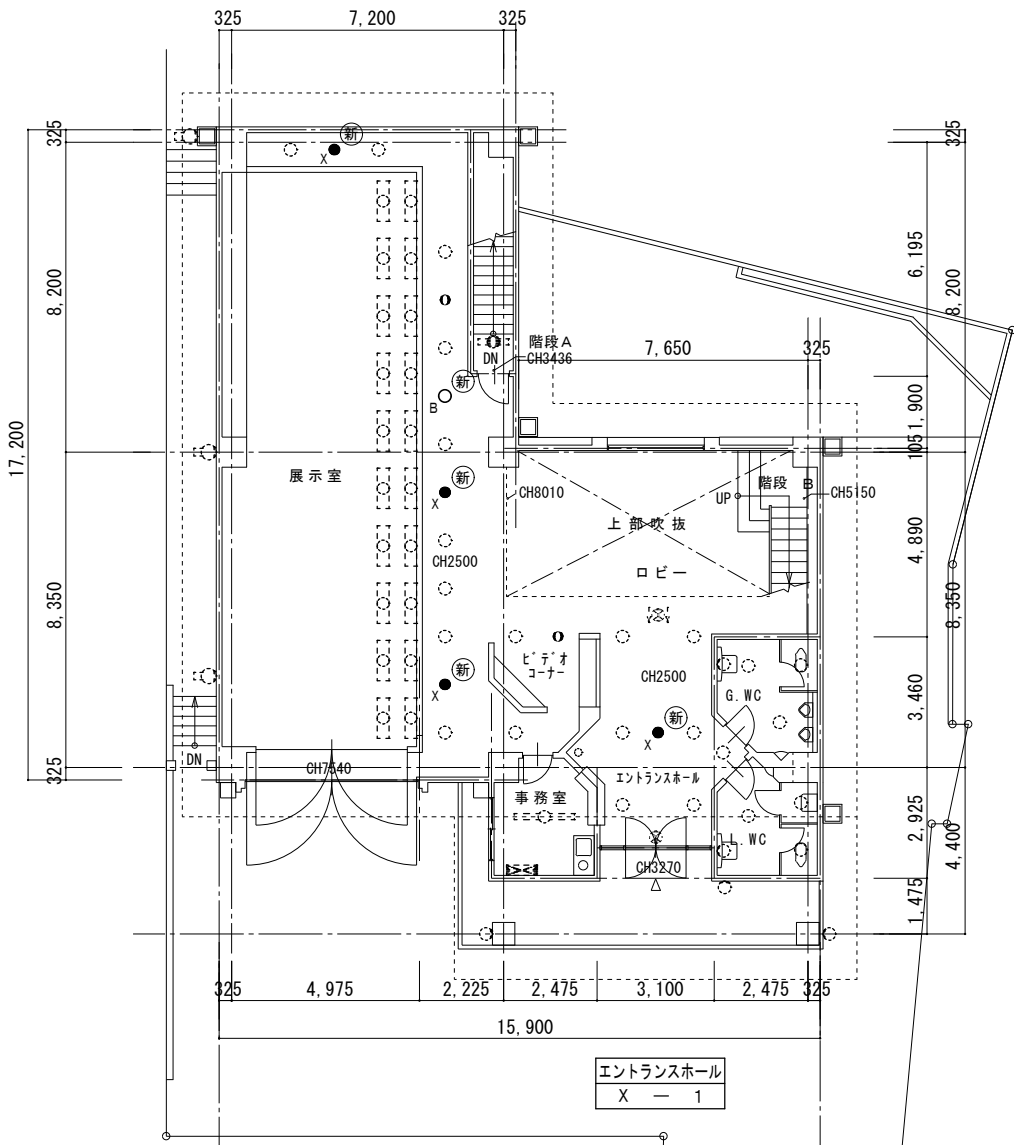
改修前

注 記

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。	
(a) 電灯設備	
○	既設更新器具を示す。
○	既設撤去器具を示す。
□○□	撤去、更新 照明器具を示す。
⌈ ⌋	既設照明器具を示す。(既存のまま使用)



通 路		
B	—	1
X	—	3



改修後

照明器具姿図

A

LEDスクエアベースライト

FHP45形×4灯相当タイプ 埋込型

□600、乳白パネルタイプ、調光可能タイプ (約10~100%)
電圧：100~242V
光束維持時間：40000時間 (光束維持率85%)、Ra:83
本体：鋼板 (象牙白粉体塗装)
枠：木製 (白木)、パネル：アクリル (乳白)
電球色 (3000K)

パナソニック 埋込XL584PJTLA9 相当

B

ダウンライト 100形

1F/ 1ヶ所

LED内蔵クワンコア (ひと粒) タイプ>、電源ユニット内蔵、一般色タイプ
3000K、Ra85、広配タイプ
光束逆光角30度、光束維持時間40000時間 (光束維持率85%)
器具光束：955lm、消費電力：7W、電圧：100~242V
反射板 (上部)：プラスチック (ホワイト)
反射板 (下部)：アルミ (銀色鏡面仕上)、埋込穴φ150
枠：鋼板 (ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ150

パナソニック XND1067SLLE9 相当

X

LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付

1F/ 4ヶ所

非常灯評定番号：LALF-004

φ100低天井用 (～3m)、30分間タイプ
LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯
電圧：100~242V、蓄電池：ニッケル水素電池
点検スイッチ付、自己点検スイッチ付
充電モニタ (緑) 付、リモコン：FSK90910K (別売)
K1-LRS11-2 保管率：0.92 K0143780

器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m
単体配座	A1 4.2	4.6	4.7	4.9	3.3
直線配座	A2 9.3	10.2	10.8	11.9	12.9
四角配座	A4 7.4	8.2	8.7	9.6	11.7

パナソニック NNF891605C 相当

Y

LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 リニューアル用

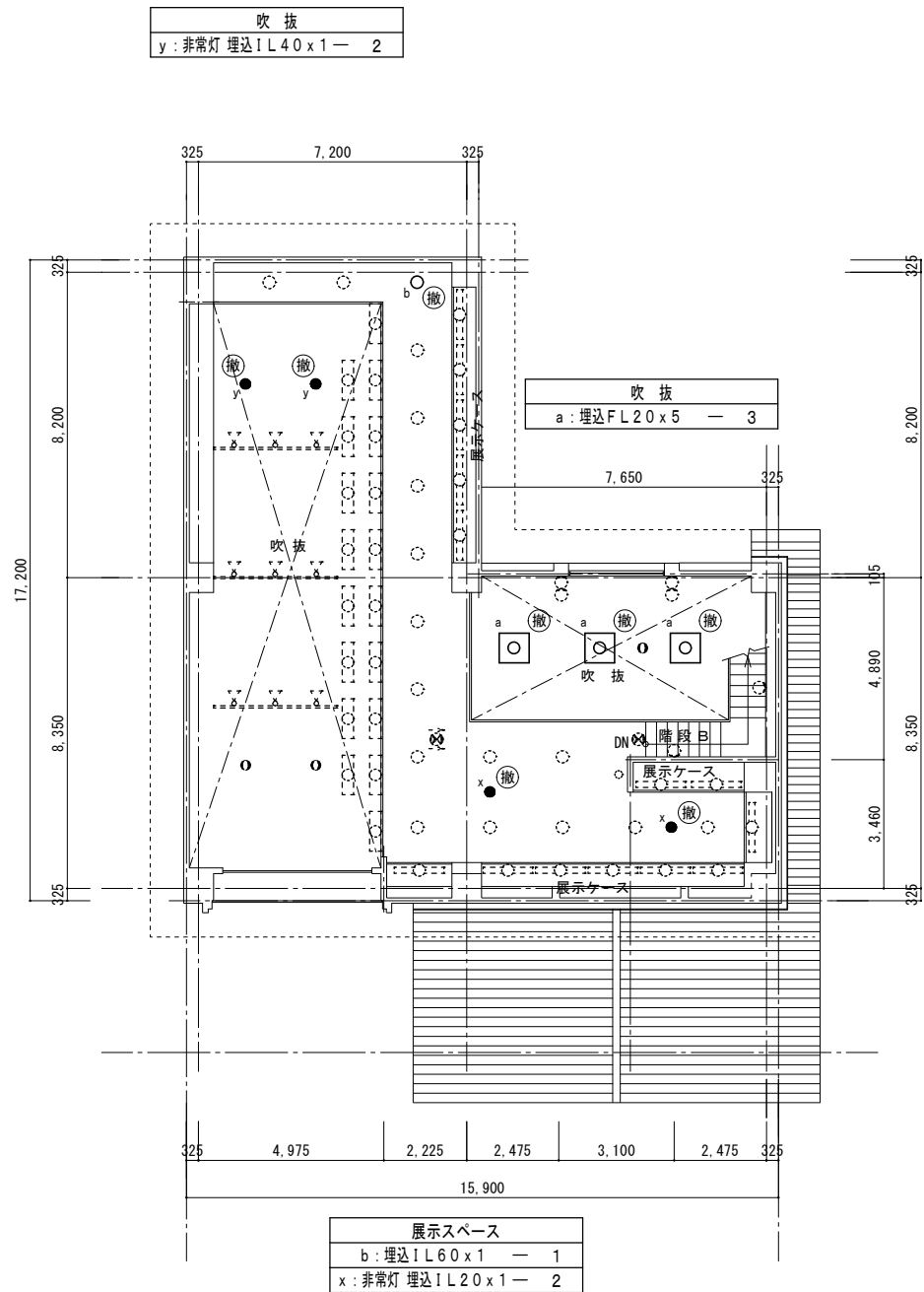
非常灯評定番号：LALF-006

φ200中天井用 (～8m)、30分間タイプ
LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯
電圧：100~242V、蓄電池：ニッケル水素電池
点検スイッチ付、自己点検スイッチ付
充電モニタ (緑) 付、リモコン：FSK90910K (別売)
K1-LRS11-2 保管率：0.92 K0143778

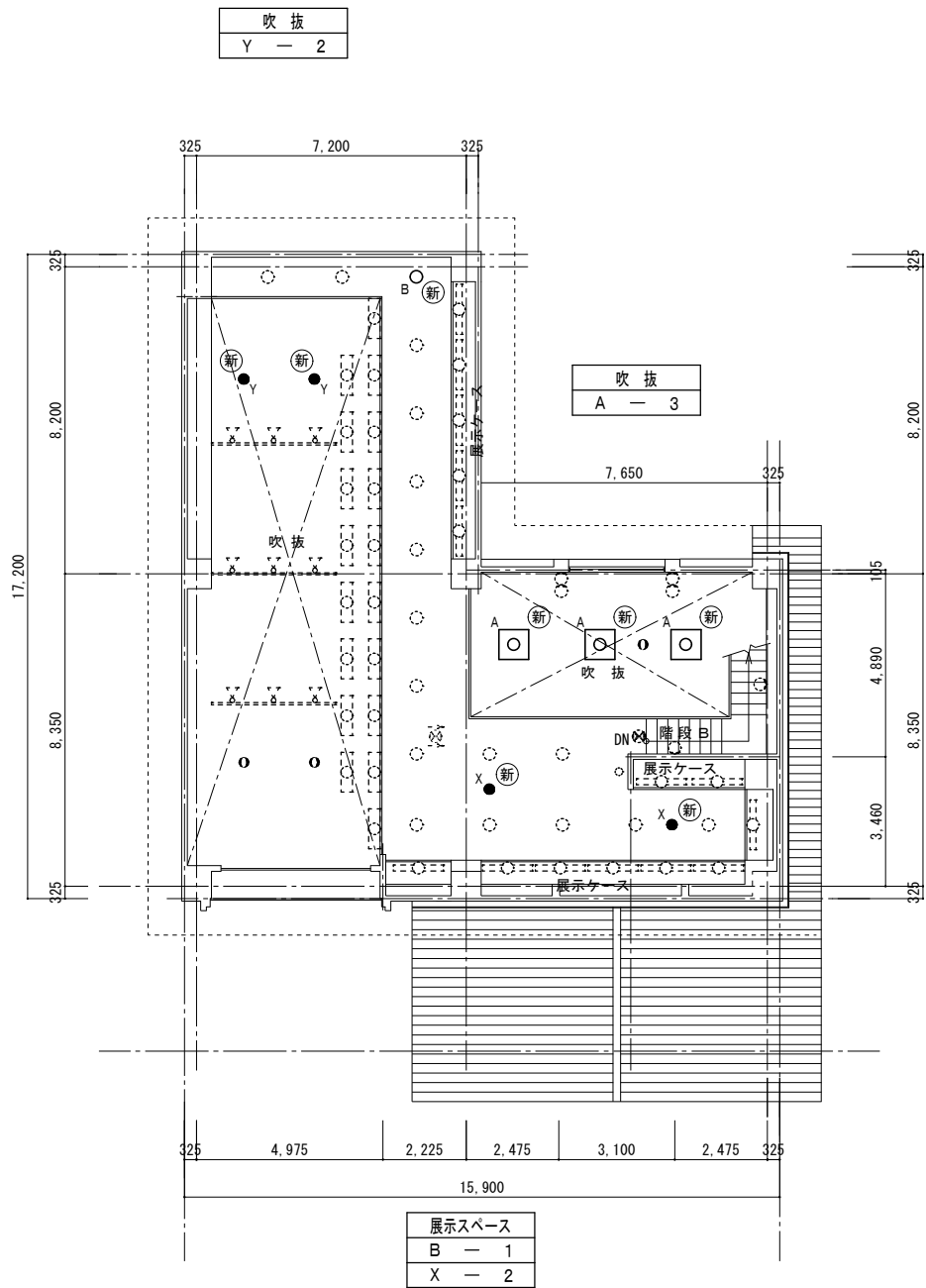
器具取付高さ	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m
単体配座	A1 7.4	8.0	8.5	5.7	4.2
直線配座	A2 17.5	19.5	21.3	20.9	18.8
四角配座	A4 14.5	16.6	18.2	19.5	18.8

パナソニック NNF893636C 相当



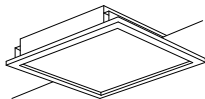

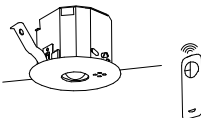
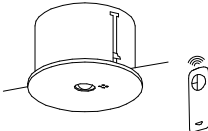


改修前



改修後

照明器具姿図

A	LEDスクエアベースライト																									
FHP45形×4灯相当タイプ 埋込型																										
2F/ 3ヶ所																										
																										
□600、乳白パネル本枠タイプ、調光可能タイプ (約10~100%) 電圧: 100~242V 光束維持時間: 40000時間 (光束維持率85%)、Ra: 83 本体: 鋼板 (高反射白色粉末塗装) 枠: 木製 (白木)、パネル: アクリル (乳白) 電球色 (3000K)																										
パナソニック 埋込XL584PJTJLA9 相当																										
B	ダウンライト 100形																									
2F/ 1ヶ所																										
																										
LED内蔵くワンコア (ひと粒) タイプ>、電源ユニット内蔵、一般色タイプ 3000K、Ra85、広配タイプ 光束逆光束30度、光束維持時間40000時間 (光束維持率85%) 器具光束: 955lm、消費電力: 7W、電圧: 100~242V 反射板 (上部): プラスチック (ホワイト) 反射板 (下部): アルミ (銀色鏡面仕上) 枠: 鋼板 (ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ150																										
パナソニック XND1067SLLE9 相当																										
X	LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付																									
2F/ 2ヶ所 非常灯評定番号: LALE-004																										
																										
φ100低天井用 (〜3m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 電圧: 100~242V、蓄電池: ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ (緑) 付、リモコン: FSK90910K (別売) K1-LRS11-2 保存率: 0.92 K0143780																										
<table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td><td>4.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1 4.2</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>3.3</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2 9.3</td><td>10.2</td><td>10.8</td><td>11.9</td><td>12.9</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4 7.4</td><td>8.2</td><td>8.7</td><td>9.6</td><td>11.7</td></tr></table>			器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置	A1 4.2	4.6	4.7	4.9	3.3	直線配置	A2 9.3	10.2	10.8	11.9	12.9	四角配置	A4 7.4	8.2	8.7	9.6	11.7
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																					
単体配置	A1 4.2	4.6	4.7	4.9	3.3																					
直線配置	A2 9.3	10.2	10.8	11.9	12.9																					
四角配置	A4 7.4	8.2	8.7	9.6	11.7																					
パナソニック NNFB91605C 相当																										
Y	LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 リニューアル用																									
2F/ 2ヶ所 非常灯評定番号: LALE-006																										
																										
φ200中天井用 (〜8m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 電圧: 100~242V、蓄電池: ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ (緑) 付、リモコン: FSK90910K (別売) K1-LRS11-2 保存率: 0.92 K0143776																										
<table><tr><td>器具取付高さ</td><td>4.0m</td><td>5.0m</td><td>6.0m</td><td>7.0m</td><td>8.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1 7.4</td><td>8.0</td><td>6.5</td><td>5.7</td><td>4.2</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2 17.5</td><td>19.5</td><td>21.3</td><td>20.9</td><td>18.8</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4 14.5</td><td>16.6</td><td>18.2</td><td>19.5</td><td>18.8</td></tr></table>			器具取付高さ	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m	単体配置	A1 7.4	8.0	6.5	5.7	4.2	直線配置	A2 17.5	19.5	21.3	20.9	18.8	四角配置	A4 14.5	16.6	18.2	19.5	18.8
器具取付高さ	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m																					
単体配置	A1 7.4	8.0	6.5	5.7	4.2																					
直線配置	A2 17.5	19.5	21.3	20.9	18.8																					
四角配置	A4 14.5	16.6	18.2	19.5	18.8																					
パナソニック NNFB93636C 相当																										

工 事 仕 様 書 (機械設備)

I. 工事概要

1. 工事名称 黒島天領北前船資料館災害復旧工事

2. 工事場所 輪島市門前町黒島町口114番地

3. 完 成 期 日 令和 年 月 日 (余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。)
- 指定部分 ・ 無 ・ 有 (指定期日: 令和 年 月 日) 対象部分 ()
- 概成工期 ・ 無 ・ 有 (令和 年 月 日) (1.2.1(6))

- #### 4. 建物概要

建築物名稱	構造	階數	延面積 (m ²)	消防令別表第一	備考
北前船資料館	RC造	2 階建(地階 1 階.塔屋 階)		8項	

- ## 5. 別契約の関連工事

- | | | | | |
|-----------|------------|-------------|------------|------------|
| ・ 建築工事 | ・ 電気設備工事 | ・ 給排水衛生設備工事 | ・ 空調調和設備工事 | ・ 構内交換設備工事 |
| ・ 昇降機設備工事 | ・ 自家発電設備工事 | ・ 厨房機器設備工事 | ・ 屋外付帯工事 | ・ 植栽工事 |
| ・ | ・ | ・ | | |

6. 工 事 内 容
1階事務所のエアコンの取り替え工事を行なう。

II. 工事仕様

- ## 1. 一般仕様

- 1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」令和4年版（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」令和4年版（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）による。
- 2) 電気設備工及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。

- ## 2. 特記仕様

章は●印の付いたものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。

◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項
● 一 般 事 項	1 工事実績情報	請負金額5,000千円以上の工事は工事実績情報登録を行う。(1.1.4)
	2 施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。(1.1.5(3))
	3 他工事との取り合い	スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表－1によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合わせる。(1.1.7)
	④ 工事の記録等	工事総合進捗表、工事日誌、工事出面報告書、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末ごとに提出する。(1.2.4)
	⑤ 施工条件	・ 新築工事 ○ 改修工事（・ 執務並行改修 ・ 全館無人改修）(1.3.3) ・ 工事用車両の駐車場所等は図示による。(改1.3.3) ・ ・
	⑥ 発生材の処理等	・ 引渡しを要するもの（・ ）(1.3.9(2)) ・ 特別管理産業廃棄物（・ 廃石綿（エルボ保温、パッキン） ・ ） ・ 現場で再利用を図るもの（・ ） ・ 再資源化を図るもの（・ コンクリート ・ アスファルト ・ 木材 ・ ）
	⑦ 再使用機材	・ 取外し後再使用するものは図示による。(改1.4.3)

●

一

般

事

項

●

共

通

事

項

章	項 目	特 記 事 項																				
● 一 般 事 項	8 事前調査	石綿含有分析調査を ・ 行う（図示 箇所） ・ 行わない（改1.5.2）																				
	9 養生	1) 既存部分の養生範囲は、図示による。（改3.1.1） 2) 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。（改3.2.1）																				
	⑩ 撤去等	1) 回収を要する機器及び配管の内容物 ㊦ 冷媒 ・ 吸収液 ・ 廃油（改4.1.1(3)） 2) 石綿の撤去は、図示による。（改4.1.2(4)） 3) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。（改4.2.4）																				
	11 環境への配慮	1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。（1.4.1(1)） ・ 吸収冷温水機 ・ 水蓄熱式空調機器 ・ 送風機 ・ ポンプ ・ ガスエンジンヒートポンプ式空調機 ・ 下塗用塗料（重防食） ・ 大便器 ・ 自動洗浄装置及びその組込み小便器 ・ 自動水栓 2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。（1.4.1(2)） ① JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用																				
	12 機材の品質等	1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。（1.4.2(1)） ただし、仮設に使用する機材は新品に限らない。 2) 機器類の能力、容量等は図示された数値以上とする。 3) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として図示された数値以下とする。 4) 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建築材料・設備機材等品質性評価事業 設備機材等評価名簿（最新年版）」（（一社）公共建築協会）等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。																				
		<table><tr><th colspan="4">機 材 名 称</th></tr><tr><td>ボイラー</td><td>空気調和機</td><td>ポンプ類</td><td>タンク</td></tr><tr><td>温水発生機</td><td>空気清浄装置</td><td>ダクト付属品</td><td>消火装置</td></tr><tr><td>冷凍機</td><td>全熱交換器</td><td>自動制御</td><td>厨房機器</td></tr><tr><td>冷却塔</td><td>送風機類</td><td>衛生器具ユニット</td><td>鉄鉄製ふた</td></tr></table>	機 材 名 称				ボイラー	空気調和機	ポンプ類	タンク	温水発生機	空気清浄装置	ダクト付属品	消火装置	冷凍機	全熱交換器	自動制御	厨房機器	冷却塔	送風機類	衛生器具ユニット	鉄鉄製ふた
	機 材 名 称																					
	ボイラー	空気調和機	ポンプ類	タンク																		
	温水発生機	空気清浄装置	ダクト付属品	消火装置																		
	冷凍機	全熱交換器	自動制御	厨房機器																		
	冷却塔	送風機類	衛生器具ユニット	鉄鉄製ふた																		
	13 一級技能士の適用	・ 配管（建築配管） ・ 建築板金（ダクト製作及び取付け）（1.5.2(1)） ・ 熱絶縁施工（保温保冷工事） ・ 厨房設備施工（厨房機器据付け及び整備） ・ 冷凍空調調和機器施工（冷凍機、パッケージ形空気調和機据付け、整備及び冷媒配管）																				
	⑭ 工事の創意工夫等	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。（1.5.7）																				
	15 化学物質の濃度測定	建築物の室内空気中の濃度測定を ・ 行う ・ 行わない（1.5.8） 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。																				
	⑮ 中間検査	中間検査の実施 ㊦ 無 ・ 有（時期 ・ 天井下地完了時 ・ ）（1.6.2）																				
⑰ 完成図	原因及び製本（等倍 1 部、A3 縮小 2 部）提出する。（1.7.2）																					
18 保全に関する資料	保全に関する資料は次のとおり、 2 部提出する。（1.7.3） ①建築物等の利用に関する説明書※ ②機器取扱説明書（主要機器一覧表とも） ③機器性能試験成績書（総合試運転調整報告書とも） ④官公署届出書類 ※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き 手引きのダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_kentikubuturiyou_tebiki.htm																					
19 足場類	内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。（改2.2.1）																					
20 工事用水等	・ 既存施設に量水器等を設けて使用できる（有償） ・ 水道局引込み等（改2.2.2）																					
21 仮設間仕切・扉	設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。（改2.2.3）																					
● 共 通 事 項	1 総合試運転調整	下記の項目の測定報告書（測定箇所は監督員の指示による）を提出する。（1.3.3） ・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 振動の測定 ・ 飲料水の水質測定（・ 11項目 箇所 ・ 16項目 箇所） ・ 雑用水の水質測定（建築物環境衛生管理基準による。）																				

章	項 目	特 記 事 項
●	2 配管等	1) 仕切弁はJIS又はJV（ ・ 5K ・ 10K（水道直結等の図示部分） ）とする。 (2.2.1) 2) 絶縁継手の取付け箇所は、図示による。 (2.2.12) 3) 建物導入部の変位吸収方法は次による。ただし、排水及び通気配管を除く。 (2.4.1(3)) 標準図（ ・ (a)フレキシブルジョイント ・ (b) ・ (c) ）による。(2.5.7(1)) 4) 呼び径60Su以下のステンレス鋼管は、（ ・ プレス ・ 拡張 ・ ）接合とする。 5) ポリエチレン管の接合方法は、（ ・ 電気融着 ・ メカニカル）とする。 (2.5.10(2)) 6) 溶接部の非破壊検査を ・ 行う ・ 行わない (2.5.15.12(9)) 7) 地中埋設標の設置箇所は、図示による。 (2.7.1(8)) 8) 埋設表示用テープ（倍折）を土被り150mm程度の深さに埋設する。 (2.7.1(9)) 9) 埋設深さは、図示が無い場合、車両道路（ ・ 60cm ・ ）、 (2.7.2) その他（ ・ 30cm ・ ）以上とする。 3 防凍保温 屋外露出部（給水管、消火管、膨張管、冷温水管、弁類を含む）は 防凍保温を行い、保温材の厚さは配管の呼び径25mm以下のものは50mm以上、それ以外は40mm以上とする。 (3.1.6) 4 塗装 下記の垂鉛めっきを施した露出ダクト及び露出配管は、塗装を行わない。 (3.2.1.1) ○ 機械室（エレベーター機械室） ○ 電気室（自家発電室） ○ 倉庫 ・ 5 吊り及び支持金物の防錆 多湿トレンチ内等の吊り金物、支持金物類は溶融亜鉛めっき処理又はステンレス鋼製とする。 (3.2.2.1) 6 監督員事務所等 1) 監督員事務所を ※ 設けない ・ 設ける〔 ・ 1号（10㎡程度） ・ 2号(20㎡程度) 〕 (4.1.1(4)) 2) 監督員事務所に設ける備品等 ・ 保護帽 ・ 墜落制止用器具 ・ 長靴 ・ 合羽 ・ 机 ・ 椅子 ・ 懐中電灯 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 寒暖計 ・ 3) 設計図を工事監理用に製本（等倍 1部、A3縮小 2部）し、監督員事務所等に置く。 ・ 快適トイレを設置する ・ 快適トイレを設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる 快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。 7 快適トイレ（快適トイレ実施要領に基づく）
	8 工事現場の表示板	工事現場には、下記表示板を設置する。 （記入例） (4.1.1(9)) <div><div>上段の地色は白色 文字は青色</div><div><div>工 事 名</div><div>工 期 自 年 月 日 ～ 至 年 月 日</div><div>発注者 輪島市</div><div>設 計 （建築・設備委託業者名を記入）</div><div>監 理 （建築・設備委託業者名を記入）</div><div>施 工 建 築 （施工業者名を記入）</div><div>電 気 （施工業者名を記入）</div><div>機 械 （施工業者名を記入）</div><div>この工事は、週休2日に取り組んでいます</div></div><div>下段の地色は青色 文字は白色</div></div> <div>60cm ～75cm</div> <div>90cm</div>
	9 埋め戻し土	設計及び監理の欄は、実施設計及び工事監理が委託発注された場合。 工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は角ゴシック体とする。 ※ 根切り土の中の良質土（ただし、管の周囲は山砂） ・ 山砂 (4.2.1(4))
	10 建設発生土の処理	・ 現場内で処理 (4.2.1(5)) ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 場外搬出適正処理（「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。） ※ 指定（想定）搬出先 受入場所： 受入時間帯： 時 分～ 時 分 仮置き等：
	11 はつり	1) 放射線透過検査を ・ 行う ※ 行わない（但し、鉄筋探査は行う。） (改4.1.2) 2) 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。 (改4.1.3) 3) 既設基礎の解体、撤去後の床補修は、図示による。 (改4.1.5)
	12 あと施工アンカー	1) 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。 (改5.2.1) 2) 施工後確認試験（引張試験）を ・ 行う（ 箇所） ・ 行わない (改5.2.3)
	13 県内産材料	石川県建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第6条の2第7項により、調達する工事材料は石川県産とするように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。
	14 材料検査	請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。 ・ 熱源機器 ○ 空調機器 ・ ポンプ類 ・ ダクト及び付属品 ・ 衛生器具 ・ タンク類 ・ 消火機器 ・ 合併処理槽 ・ 厨房機器 ・ ・
	15 工事写真等の記録	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和5年改定）」による。

工事名	黒島天領北前船資料館災害復旧工事	番号	M-01
図面名	工事仕様書（機械設備）	1 / 3	縮尺 _____
設 計			
輪 島 市 教 育 委 員 会			

章	項 目	特 記 事 項																																																																
●	16 部分払いの対象 工事材料	2) 請負契約約款第 1 4 条第 3 項に定める工事写真は次のとおり。 ・ 地中埋設配管部 ・ 機器の基礎及びアンカーボルト埋設部 ・ 塗装工程 ・ 保温工程 ・ 天井、トレンチ内の隠べい箇所 ・ 躯体スリーブ 3) 区分による規格、枚数、部数は次による。 <table><tr><th>区 分</th><th>大きさ(mm)</th><th>撮 影 枚 数</th><th>部数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>着工前</td><td>100×148程度</td><td>監督員の指示による</td><td>1 部</td><td>工事期間中は現場事務所に整理保管し、</td></tr><tr><td>工事中</td><td>85×115程度</td><td>監督員の指示による</td><td>1 部</td><td>工事完成時に提出する。</td></tr><tr><td>完成時</td><td>100×148程度</td><td>監督員の指示による</td><td>1 部</td><td>A 4 用紙に整理したもの</td></tr></table> 4) 完成写真の撮影は、次による。 ・ 建築写真撮影業者 ※ 建築写真撮影業者以外 5) 写真は A 4 用紙に順序よく貼付又は印刷し、説明事項を記入して提出する。 6) 中間検査又は監督員の指示により、手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添付し提出する。 請負契約約款第 3 7 条第 1 項に定める部分払の対象とする工事材料は次のとおり。 ・ 機器 ・ 器具 ・ 配管 ・ 請負契約約款第 4 9 条に定める火災保険等は次のとおり。（加入期間は着工日より引渡日まで） ※ 組立保険 ・ 建設工事保険 次に示す事項を除き、すべて独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針 2 0 1 4 年版」による。 (3-2.1.1(5)) 1) 機器の設計用標準水平震度及び耐震クラスは図示による。図示がなければ次による。 <table><tr><th rowspan="3">設置場所</th><th colspan="2">耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）</th></tr><tr><th>特定の施設</th><th>一般の施設</th></tr><tr><th>・ 耐震クラス S</th><th>・ 耐震クラス A</th></tr><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2. 0</td><td>1. 5 < 2. 0 ></td></tr><tr><td>中間階</td><td>1. 5</td><td>1. 0 < 1. 5 ></td></tr><tr><td>一階及び地下階</td><td>1. 0 (1. 5)</td><td>1. 0</td></tr></table> 注1 設置場所の区分は、機器等を支持する床部分により適用し、天井面（上階床）より支持する機器等は直上階を適用する。 注2 上層階は、2 ～ 6 階建の場合は最上階、7 ～ 9 階建の場合は上層 2 階、10 ～ 12 階建の場合は上層 3 階、13 階建以上の場合は上層 4 階とする。 注3 () 内の値は水槽類（受水槽、高置水槽、消火関係水槽、オイルタンク等）、< > 内の値は防振支持の機器（防振材・防振装置を介して設置される機器）に適用する。 2) 地域係数は 1. 0 とする。 3) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の 1 ／ 2 とし水平地震力と同時に働くものとする。 4) 1 k N 以下の軽微な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し据付け又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。 請負金額 1 0 , 0 0 0 千円以上の元請工事の現場代理人及び主任（監理）技術者は顔写真付き名札を常時着用する。下記の寸法等は、参考であり、社員証等に替えることができる。 <table><tr><td rowspan="2">55mm</td><td rowspan="2">17mm</td><td colspan="2">〇〇建設機社員証</td><td rowspan="2">40mm</td></tr><tr><td>氏名 △ △ 太 郎</td><td>(顔写真)</td></tr><tr><td rowspan="2">16mm</td><td rowspan="2">10mm</td><td>発行日 令和 年 月 日</td><td>カラー写真貼付</td><td rowspan="2">4mm</td></tr><tr><td>代表者 □ □ 建一</td><td>代表印</td></tr><tr><td colspan="2">2mm</td><td>13mm</td><td>42mm</td><td>2mm</td><td>30mm</td><td>2mm</td></tr><tr><td colspan="7">91mm</td></tr></table>	区 分	大きさ(mm)	撮 影 枚 数	部数	備 考	着工前	100×148程度	監督員の指示による	1 部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、	工事中	85×115程度	監督員の指示による	1 部	工事完成時に提出する。	完成時	100×148程度	監督員の指示による	1 部	A 4 用紙に整理したもの	設置場所	耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）		特定の施設	一般の施設	・ 耐震クラス S	・ 耐震クラス A	上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5 < 2. 0 >	中間階	1. 5	1. 0 < 1. 5 >	一階及び地下階	1. 0 (1. 5)	1. 0	55mm	17mm	〇〇建設機社員証		40mm	氏名 △ △ 太 郎	(顔写真)	16mm	10mm	発行日 令和 年 月 日	カラー写真貼付	4mm	代表者 □ □ 建一	代表印	2mm		13mm	42mm	2mm	30mm	2mm	91mm						
	区 分	大きさ(mm)	撮 影 枚 数	部数	備 考																																																													
	着工前	100×148程度	監督員の指示による	1 部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、																																																													
	工事中	85×115程度	監督員の指示による	1 部	工事完成時に提出する。																																																													
	完成時	100×148程度	監督員の指示による	1 部	A 4 用紙に整理したもの																																																													
	設置場所	耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）																																																																
		特定の施設	一般の施設																																																															
		・ 耐震クラス S	・ 耐震クラス A																																																															
	上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5 < 2. 0 >																																																															
	中間階	1. 5	1. 0 < 1. 5 >																																																															
一階及び地下階	1. 0 (1. 5)	1. 0																																																																
55mm	17mm	〇〇建設機社員証		40mm																																																														
		氏名 △ △ 太 郎	(顔写真)																																																															
16mm	10mm	発行日 令和 年 月 日	カラー写真貼付	4mm																																																														
		代表者 □ □ 建一	代表印																																																															
2mm		13mm	42mm	2mm	30mm	2mm																																																												
91mm																																																																		
17 火災保険等																																																																		
18 耐震施工																																																																		
共	19 名札の義務	受注者は建設業退職金共済制度に加入し、本工事の掛金収納書を工事請負契約締結後 1 か月以内に監督員を通じて発注者に提出する。また、現場事務所に適用標識（シール）を掲示する。 1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませない。 2) さし柵装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませない。 3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長しないようにする。 4) 取引関係のあるダンプカー事業車が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずる。 5) 建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにする。 6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和 4 2 年 8 月 2 日法律第 1 3 1 号。以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 1 2 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進する。 7) 1) から 6) につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導する。 本工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく下記の事業であり、景観に配慮した施工に努める。 ・ 重点事業 ・ 一般事業 「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく、「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。履行にあたり疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議する。 ※ 行う（「電子納品仕様書」による。） ・ 行わない 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 <table><tr><th>名 称</th></tr><tr><td>営繕工事電子納品要領（令和 3 年改定）</td></tr><tr><td>官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和 4 年改定）</td></tr></table> 基準・要領類のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html	名 称	営繕工事電子納品要領（令和 3 年改定）	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和 4 年改定）																																																													
	名 称																																																																	
	営繕工事電子納品要領（令和 3 年改定）																																																																	
	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和 4 年改定）																																																																	
	20 退職金共済制度																																																																	
	21 過積載等の防止																																																																	
	事	22 景観への配慮																																																																
		23 総合評価方式における技術提案																																																																
		24 電子納品																																																																
		項	25 公共事業労務費調査の協力	2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別に C D - R 、 D V D - R 又は B D - R で 1 部納品する。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。 工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。 ① 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をする。 ② 調査票等を提出した事業者が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力する。 ③ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行う。 ④ 下請負に付する場合には、当該下請工事受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む）が前各号と同様の義務を負う旨を定める。 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む）																																																														
26 事故の補償			1 煙道 (1. 1. 2) 2 冷媒 (1. 7. 5. 15) 3 ダクト 1) 低圧ダクト ・ アングルフランジ工法 ・ スパイラルダクト (1. 14. 3. 1～2) ・ コーナーボルト工法 (・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ) 2) 高圧ダクトの適用範囲は図示による。 3) 厨房用長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書の 1 ランク厚いものを使用する。(1. 14. 3. 5) 消音内貼りを施すチャンバーは、図示による。(1. 14. 6. (1)) 4 チャンバー (2. 2. 5. 5) 5 風量測定口 防振基礎は、図示による。(2. 1. 1(3)) 6 基礎 (2. 1. 1(3)) 7 配管材料 1) 冷温水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ (2-2. 1. 2. 1) 2) 冷却水管 ・ ポリ粉体ライニング鋼管(PB) ・ 3) 蒸気管 給水管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) ※ 配管用炭素鋼鋼管(黒) (2-2. 1. 2. 2) 還管 ※ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) ・ 4) 油管 屋内 ・ 配管用炭素鋼鋼管(黒) 地中 ・ ポリエチレン被覆鋼管(PLS(PEIH)) 屋外露出、暗渠 ・ 硬質塩化ビニル被覆鋼管(PLV) 5) 冷媒配管 ※ 断熱材被覆鋼管 ・ 銅管 (2-2. 1. 2. 4) 6) 空調用ドレン管 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) (2-2. 1. 2. 6) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管 8 伸縮管継手 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラーへの給水管は配管用炭素鋼鋼管(白)とする。鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。(2-2. 2. 7. 1) 9 瞬間流量計 ・ 着脱形 ・ 固定形 を設ける。(2-2. 3. 8) 10 保温 (2-3. 1. 4) 11 冷媒(フロン類)の回収 1) 業務用冷凍空調機器等（エアコンディショナー、冷蔵機器、冷凍機器等）で「フロン排出抑制法」の対象となっている機器 (改2. 4. 3) ・ 「第一種フロン類充填回収業者登録通知書」の写しを提出する。 ・ 「フロン類引取証明書」を提出する。 2) 家庭用のエアコン等で「家電リサイクル法」の対象となっている機器 ・ 「特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)」の写しを提出する。																																																															
○ 自動制御設備			1 システム構成 図示による。(1. 1. 1(2)) 2 電源装置 無停電電源装置は、図示による。(1. 4. 2. 9) (1. 5. 1) (2. 3. 1) 3 電気計装用配線 原則、配線は E M ケーブル等とし、天井隠べい部は、図示がなければケーブル配線とする。																																																															
○ 給排水衛生設備			1 水栓 水抜栓を使用する系統の水栓は、固定こま式とする。台所流し用水栓は泡沫式とする。(1. 1. 6) 2 量水器 1) ・ 親メーター(・ 貸与品 ・ 買取) ・ 子メーター(・ 買取 ・) (2-2. 2. 16) 2) 量水器樹 ・ 水道事業者指定品(・ 貸与品 ・ 買取) ・ 標準図 M C 形 (1. 8. 4) 水中ケーブルの長さは、図示による。(1. 2. 7) 3 汚水用 水中ポンプ 4 タンクの保温 ステンレス鋼板製タンクの保温を ・ 行う ・ 行わない (1. 4. 2. 4) (1. 4. 2. 5)																																																															
章			5 緊急遮断弁装置	受水槽、高架水槽に設ける緊急遮断弁装置は、図示による。(2-2. 2. 22)																																																														
			6 配管材料	1) 給水管 一般 ・ ポリ粉体ライニング鋼管(PB) ・ ステンレス鋼鋼管 (2-2. 1. 2. 5) ・ 厨房、浴室等のシンダー内配管はポリ粉体ライニング鋼管(PD) 地中 ・ ポリ粉体ライニング鋼管(PD) ・ ステンレス鋼鋼管 ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ・ 水道用耐震型ポリエチレン管 引込管（直結部分）は水道事業者指定のものとし、図示による。加入負担金は別途 2) 給湯管（膨張管及び補給水タンクよりボイラーなどへの補給水管を含む。） ・ 銅管（壁又は床埋設は、被覆銅管又は保温付被覆銅管としてもよい。） ・ ステンレス鋼鋼管 ・ 耐熱性塩化ビニルライニング鋼管 3) 消火管 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) 地中 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(VS) 4) 排水管 屋内 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 耐火二層管(VP) (2-2. 1. 2. 6) ・ リサイクル発泡三層管(RF-VP) ・ 耐火二層管(RF-VP) 屋外 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 圧送 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 5) 通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 耐火二層管(VP) ・ リサイクル発泡三層管(RF-VP) ・ 耐火二層管(RF-VP)																																																														
			7 洗面器等の排水	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより 1 サイズアップとする。(2-2. 4. 8)																																																														
	8 満水試験継手		取付け位置は、図示による。(2-2. 9. 4)																																																															
	○ ガス設備		1 配管材料 1) 屋内 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) (2. 1. 1) (3. 1. 1) 2) 地中 ・ ポリエチレン被覆鋼管(PLS(PEIH)) ・ ガス用ポリエチレン管 3) 屋外露出、暗渠 ・ 硬質塩化ビニル被覆鋼管(PLV) ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) 2 メーター ・ 親メーター(・ 貸与品 ・) ・ 子メーター(・ 買取 ・) (2. 1. 7) (3. 1. 3. 4) 3 ガス漏れ ・ 本工事（図示による） ・ 別途工事 (2. 1. 3) (3. 1. 3. 6) 4 その他 警報器 ガス遮断装置、漏洩検知装置、電気防食措置、ポンベの転倒防止措置は、図示による。																																																															
	○ 浄化槽設備		1 配管材料等 1) マンホールふた ・ ボルトロック式 ・ メーカー標準ロック式 (2. 1. 27) 2) 管材や弁類は、図示による。(2. 1. 30) 2 山留め 山留め壁 ・ 要（図示による。） ・ 不要 (2. 2. 1(㊦)) 3 維持管理 工事引渡後 6 ヶ月間は受注者が維持管理を行い、7 条検査を受検し、その報告を行う。(2. 2. 2)																																																															
	(別表－1) 他工事との取り扱い																																																																	
	開口部	はり、床、壁の貫通部（R C 造） 補 強 筋 ボ ー ド 類 切 込 み 下 地 補 強	● ● ●	 ●	S 造は建築 建築図面に図示 建築図面に図示																																																													
	外部取付ガラリ（ダクト、チャンバの接続用フランジを含む） ● 建築図面に図示																																																																	
	レンジフードファン、フード（取付枠共）及び流し台（排水トラップ共） ●																																																																	
洗面所、手洗所等の大型鏡、はめ込型洗面器用カウンター及び身障者用手すり ●																																																																		
下流し、足洗い場及び玄関の排水 ●																																																																		
床、天井、壁の点検口及び床下水槽のマンホール蓋 ● 建築図面に図示																																																																		
屋内外設備（受水槽、ポンプ等）の基礎 ● 建築図面に図示																																																																		
屋上設備の基礎 ● 建築図面に図示																																																																		
地下油タンク室等のコンクリート工事 ● 建築図面に図示																																																																		
油サービスタンクの防油堤 ●																																																																		
ボイラーの煙突及びプロパンボンベ庫（既製のものは機械） ●																																																																		
実験台(陶器製流し、化学水栓、ガス栓及びコンセント共付属品を含む) ●																																																																		
実験台への配管及び配管接続 ●																																																																		
電	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）	●		二次側																																																														
気	機器付属の制御盤への電源供給の配管配線		●	一次側																																																														
配	制御盤と動力盤間の電源供給及び操作回路の渡り配管配線		●																																																															
線	機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線		●																																																															

章	項	目	特	記	事	項			
○	1	輪島市週休 2日工事	工	事	現	場において週休2日に取り組む「輪島市週休2日工事」（以下、「週休2日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。 なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、輪島市監理課HPの「輪島市週休2日工事実施要領」を参照すること。 (1) 当初設計において、週単位の週休2日にかかる補正係数を乗じている。 (2) 受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 (3) 受注者は、現場着手前に休日取得〔計画〕表を作成し、監督員に提出・共有すること。 (4) 受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得〔計画〕表を修正し、監督員に提出・共有すること。 (5) 受注者は、工期最終日までに、休日取得〔実績〕表を記入し、監督員に提出すること。 (6) 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 (7) 発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、週単位の週休2日に満たない場合は、月単位の週休2日（4週8休相当）の補正に減額するものとし、月単位の週休2日（4週8休相当）に満たない場合は、補正分を減額するものとする。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。			
							そ	の	他
2	余裕期間制度 試行工事	1) 適用 ・ 対象 ※ 対象外 2) 余裕期間制度対象工事の内容 (1) 本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。 (2) 受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 (3) 受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 (4) 工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。 (5) 受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 (6) 受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 (7) 受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。 (8) 受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 (9) 余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 (10) その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。 (着工日の期限) 契約締結日から起算して〇ヶ月以内							
3	イメージアップ 看板	・ 設置する ・ 設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、設置することができる（設置費は受注者負担とする） 【参考図】 <div><div>野立型（大） H1400×W1100</div><div>野立型（小） H1400×W550</div><div>壁掛型 H750×W900</div></div> <div><div><div>未来への夢「石川をつくる」</div><div>みんなであつくりよう石川</div></div><div><div>未来への夢</div><div>「石川をつくる」</div><div>みんなであつくりよう石川</div></div><div><div>未来への夢「石川をつくる」</div><div>みんなであつくりよう石川</div></div></div> <p>(注) 看板のデザインは監督員に確認すること</p>							
4	情報共有 システム	石川県建設工事情報共有システム実施要領（営繕工事編）に基づく。 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/kijun/kijun.html ・ 利用する（発注者指定型） ※ 現場着手前に発注者と協議し、利用することができる（施工者希望型）							

章	項	目	特	記	事	項

工事名	番号
黒島天領北前船資料館災害復旧工事	M-03
図面名	縮尺
工事仕様書（機械設備）3／3	――
設 計	
輪島市 教育委員会	

撤去機器表

記 号	名 称	台数	仕 様	電 動 機		設置場所	備考	
				電源	消費電力			
<div>ACR 1</div>	ルームエアコン	1	型式 壁掛形	1φ	100v	冷 0.89kw	1階事務室	屋内機 RAS-2553D 東芝
			能力 冷房能力 2.5 kw 暖房能力 2.8 kw			暖 0.95kw		屋外機 RAS-2553AD 東芝
			付属品 床置架台300H					

新設機器表

記 号	名 称	台数	仕 様	電 動 機		設置場所	備考
				電源	消費電力		
<div>ACR 1</div>	ルームエアコン	1	型式 壁掛形	1φ	100v	冷 0.86kw	1階事務室
			能力 冷房能力 2.5 kw 暖房能力 2.8 kw			暖 1.06kw	
			付属品 ワイヤレスリモコン 溶融亜鉛メッキ架台500H エアコン用コンクリートブロック 転倒防止金具				
1. 冷房及び暖房の能力表示は(JIS B 8616)による。							
2. 室内外連絡線工事は本工事とし、冷媒管共巻きとする(EM-CEE2.0□x3C)							
3. 屋外機は耐重塩害仕様とする。							

改修前

改修後

